



ODAKYU 会社要覧 2021

ごあいさつ

小田急グループでは、『お客さまの「かけがえのない^{とき}時間」と「ゆたかな暮らし」の実現に貢献する』というグループ経営理念の下、93社から成るグループ会社が、東京・神奈川を主な事業エリアとして、運輸、流通、不動産などさまざまな事業を展開しています。

このたび、変化する事業環境に適合し経営理念を実現するため、開業から100周年を迎える2027年に向け、経営ビジョン「UPDATE 小田急～地域価値創造型企業にむけて～」を新たに策定しました。

この経営ビジョンでは、次の100年を歩むため、『社会・地域』『経済』『環境』の3つの軸を経営判断に取り入れ事業を峻別し、地域価値創造型企業へと事業モデルの更新を図ります。小田急沿線や事業を展開する地域とともに成長するため、既存概念に捉われず常に挑戦を続けることでお客さまの体験や環境負荷の低減など地域に新しい価値を創造していく企業に進化します。

また、人口減少やテクノロジーの進化、価値観の多様化に加えお客さまの行動変容など私たちをとりまく事業環境は大きく変化しています。このような不確実性の高い時代に適合するために、経営ビジョンの前半3カ年を体質変革期、後半3カ年を飛躍期と位置づけ、事業変革と経営状況回復に取り組めます。

今後も小田急グループは、自らの社会的責任を着実に果たすことで、日本一暮らしやすい沿線づくりを進め地域に新しい価値を創造するとともに、皆さまから信頼され社会と共に発展する企業を目指し取り組んでまいります。引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



小田急電鉄株式会社
取締役社長

星野 晃司

2021年9月

CONTENTS

2 ● ごあいさつ

会社概要 Chapter 1

- 5 ● 役員の紹介
- 6 ● 業務組織
- 8 ● グループ経営理念
- 9 ● 経営ビジョン
「UPDATE 小田急
～地域価値創造型企業にむけて～」
- 14 ● 小田急グループの経営計画体系と
ブランドマーク
- 15 ● 業績
- 16 ● ダイバーシティ&インクルージョン

小田急グループのCSR Chapter 2

- 19 ● 小田急グループのCSR

鉄道部門 Chapter 3

- 27 ● 当社路線の概要
- 30 ● 設備投資
- 31 ● 安全対策の強化
- 36 ● サービスの向上
- 41 ● 複々線化事業
- 42 ● 車両
- 44 ● 駅
- 48 ● 輸送人員・旅客収入

生活サービス部門 Chapter 4

- 53 ● 不動産賃貸業
- 56 ● 開発事業／広告業／その他事業

小田急グループ Chapter 5

- 65 ● 小田急グループ一覧

※本書記載の数字は、特記したものを除き、
全て2020年度または2021年3月31日現在のものです

Chapter 1

会社概要

社 名	小田急電鉄株式会社 Odakyu Electric Railway Co., Ltd.
設 立	1948年6月1日〔前身の小田原急行鉄道は1923年5月1日設立〕
本店所在地	〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目28番12号
本社事務所	〒160-8309 東京都新宿区西新宿1丁目8番3号
資 本 金	603億5千9百万円
代 表 者	取締役社長 星野 晃司
事 業 内 容	鉄道事業 不動産業 その他事業
従 業 員 数	3,760名
年 間 収 益	1,143億66百万円〔2020年度総営業収益〕
グループ会社	93社※

※2021年8月1日現在



社 紋

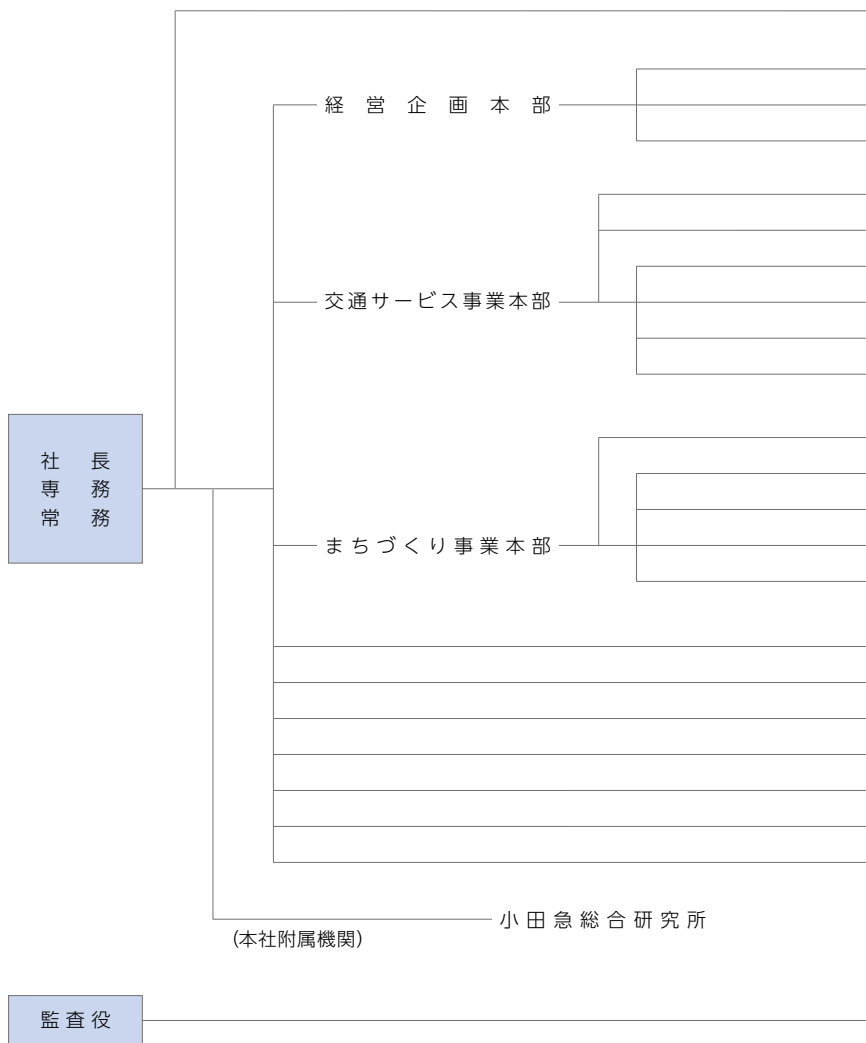
小田急の「小」の字をデザインしたもので、中央タテの線がレールの断面すなわち鉄道を、周囲の円は社内の和を象徴しています。

役員の紹介

※2021年8月26日現在

取締役社長（代表取締役）	執行役員	星野 晃司 ほしの こうじ
専務取締役（代表取締役）	執行役員	荒川 勇 あらかわ いさむ
常務取締役	執行役員	五十嵐 秀 いがらし しゅう
常務取締役	執行役員	端山 貴史 はやま たかし
常務取締役	執行役員	長野 真司 ながの しんじ
常務取締役	執行役員	黒田 聡 くろだ さとし
取締役		野間口 有 の まくち たもつ
取締役		中山 弘子 なかやま ひろこ
取締役		大原 透 おおはら とおる
取締役		糸長 丈秀 いとなが たけひで
取締役		立山 昭憲 たてやま あきのり
取締役		鈴木 滋 すずき しげる
常勤監査役		山本 俊郎 やまもと としろう
常勤監査役		宇佐美 淳 う さ み じゅん
監査役		伊東 正孝 いとう まさたか
監査役		林 武史 はやし たけし
	執行役員	細谷 和一郎 ほそや わいちろう
	執行役員	久富 雅史 ひさとみ まさし
	執行役員	深海 尚 ふかみ ひさし
	執行役員	沓澤 孝一 くつざわ こういち
	執行役員	水吉 英雄 みずよし ひでお
	執行役員	露木 香織 つゆき かおり

業務組織



監査・内部統制室	
経営戦略部	
グループ経営部	
デジタルイノベーション部	
交通企画部	
安全・技術部	
運転車両部	—— 運輸司令所、電車区、車掌区、総合車両所、検車区
旅客営業部	—— 駅、小田急お客さまセンター
工務部	—— 工務技術センター
電気部	—— 電気司令所、電気システム管理所
不動産戦略部	
エリア事業創造部	
新宿プロジェクト推進部	
アセット事業部	
生活事業推進部	—— 沿線事業所
観光事業開発部	
顧客価値創造部	
I R 室	
財務部	
総務部	
C S R ・ 広報部	
人事	—— 健康管理センター、小田急研修センター
監査役室	

(2021年4月1日現在)

グループ経営理念

グループ経営理念は、経営に対する普遍的な価値観や社会に存在する意義を示した「経営理念」と、これを実現するための経営トップから社員一人ひとりの行動の原則ならびに各ステークホルダーに対する約束を示した「行動指針」で構成されています。ここで示された行動指針に則り日々の事業活動を推進し、経営理念を実現することで、社会とともに持続的に発展していくことが当社グループの社会的責任です。

経営理念

小田急グループは、お客さまの
「かけがえない時間^{とき}」と「ゆたかなくらし」
の実現に貢献します。

この経営理念は、当社グループが社会に対して事業を通じて果たすべき役割・責任や、企業市民として社会に存在する意義を表しています。

当社グループは、お客さまの期待に応え、お客さまに満足していただける価値ある時間や空間《かけがえない時間(とき)》を創造・提供していくことで、お客さまの大切な時間を快適で心地よいものにするお手伝いをし、良きパートナーとして明るくしあわせな社会《ゆたかなくらし》の実現に貢献します。

行動指針

私たちは、経営理念の実現のため、3つの精神を忘れることなく
お客さまに「上質と感動」を提供します。

真摯 私たちは、安全・安心を基本にすべての事業を誠実に推進します。

進取 私たちは、前例や慣習にとらわれず、
よりよいサービスの追求に挑戦します。

融和 私たちは、グループ内に留まらない外部との連携、
社会・環境との共生に取り組みます。

行動指針は、私たちが日々業務に取り組むうえでの行動の原則となるものです。この行動指針に則り一人ひとりが担う業務を誠実に遂行することで、経営理念を実現し社会とともに持続的に発展していくことが私たちの使命です。ここで示す3つの精神は、お客さまに選ばれるための小田急ブランドを形成する不可欠な要素となります。

経営ビジョン「UPDATE 小田急～地域価値創造型企業にむけて～」

新しい経営ビジョン「UPDATE 小田急～地域価値創造型企業にむけて～」で、開業から100周年を迎える2027年までに、次の100年を歩むための事業モデルの変革を図ります。

当社グループは、小田急沿線や事業を展開する地域とともに成長するために、既存概念に捉われず常に挑戦を続けることで、お客さまの体験や環境負荷の低減など地域に新しい価値を創造していく企業に進化します。

変化する
事業環境

人口問題

気候変動

テクノロジーの進化

価値観の多様化

アフターコロナの行動変容

未来の不確実性

2027年
開業
100周年

100年続いてきた事業モデルを更新し
不確実性の高い時代に適合

●全体方針

2026年度までの6年間について、前半の3カ年を体質変革期、後半の3カ年を飛躍期と定め、事業モデルの変革に取り組みます。

体質変革期では、飛躍期に向けて3つの経営課題と3つの発想を通じた事業の変革に取り組み、経営状況の回復を図るとともに、既存のビジネスモデルを見直します。

2021年度

2024年度

2027年度

経営ビジョン UPDATE 小田急 ～地域価値創造型企業にむけて～

体 質 変 革 期

■変革にむけた3つの経営課題

『利益水準の回復』
『有利子負債のコントロール』
『事業ポートフォリオの再構築』

■3つの発想を通じた事業の変革

『DX発想』
『共創発想』
『ローカライズ発想』

飛 躍 期

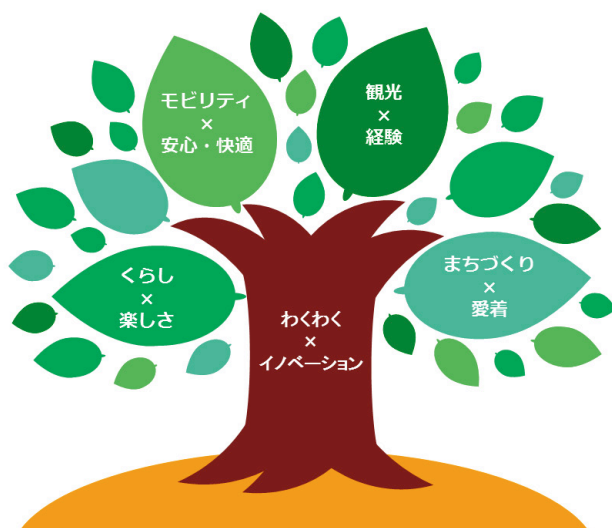
未来の小田急の
持続的な成長につながる
事業創造や拡大を進め、
地域価値創造型企業として
次の100年を歩むため
新たな価値を生み出していく

2027年
開業
100周年

未来フィールド

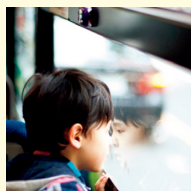
今後、事業環境の不確実性は、より一層増していくものと考えています。変化を確実に予測できない環境であることから、当社グループでは、社会や顧客に提供していきたい価値(ありたい姿)を描き、それに近づくための挑戦を繰り返していきます。

「未来フィールド」は、これから蒔き育てる成長の種がやがて太い幹となり、その先に豊かな葉が広がる未来を思い描きながら、当社グループのありたい姿を表したものです。4つの葉は「お客さまや社会にどのような価値を生み出していきたいのか」、幹は「そのために自らがどのような組織でありたいか」を示しています。



モビリティ × 安心・快適 ～新しい“モビリティ・ライフ”をまちに～

90年間積み上げてきた安心・快適という普遍的な価値を揺るぎない土台としながら、これからのテクノロジーを活かして、「会いたいときに、会いたい人に、会いに行ける」、次世代の“モビリティ・ライフ”をまちに生み出します。



まちづくり × 愛着 ～まちの“新しい物語”を紡ぎ出す～

まちの個性や特徴を活かした職、住、商、学・遊のシーンを創り出し、まちとつながる愛着や誇りをお客さまとともに育みます。お客さまや地域社会の課題解決を通じて、まちの“新しい物語”を紡ぎ出していきます。



くらし × 楽しさ ～何気ない日々“心が動く瞬間”を～

変化するトレンドや多様化するお客さまの欲求をスピーディーに捉え、スポーツや音楽、食事、買い物など、何気ない日々を彩る時間や空間をさまざまなパートナーと共創することにより、安心感を上回る“心が動く瞬間”を演出していきます。



観光 × 経験 ～ここでしか得られない“特別な思い出”を～

地域の方々とともにその土地ならではの過ごし方や楽しみ方を発掘し、日本はもちろん、世界から訪れるゲストに“特別な思い出”として心に残る経験のお手伝いをすることで、日本、地域、まちの発展に貢献していきます。



わくわく × イノベーション ～いつの時代もお客さまに“わくわく”を～

社員一人ひとりが、主体性と創造性と情熱を解放し、“わくわく”をアイデアの源泉とします。お客さまに新たな価値をお届けするために、いつの時代も変化を楽しみ、未知への挑戦を続けます。



●社内事業アイデア公募制度「Odakyu Innovation Challenge “^{クライマーズ}climbers”」

2018年度より、「未来フィールド」の実現や、社会課題の解決を目指し、既存の事業や組織の枠組みを超えて社員が新たな事業の創造にチャレンジすることで、人材育成とイノベティブな風土の醸成を図る制度として「Odakyu Innovation Challenge “climbers”」をスタートしています。

アイデアについては当社員が立案し、実施にあたっては、積極的に組織内外の技術・ノウハウをかけ合わせることでイノベーションの連鎖を起こして市場機会を増やし、市場開拓や社会課題の解決に資する事業の実現を目指します。

制度開始から3年で7件が採択され、事業化に向けた検討を進めています。



▷climbersから生まれた主な取り組み

いちのいち	社会課題解決を目指した地域コミュニティ活性化のための自治会町内会のSNS。
	HP ichi-no-ichi.com/
ハンターバンク	農林業者と協力し、獣害対策に貢献するハンターをサポートするサービス。
	HP odakyu-hunterbank.com/
IFLATs / PRAIL	<IFLATs> 新しい働き方や暮らし方に挑戦できる社会を構想するリサーチプロジェクト。
	HP iflats.org/
	<PRAIL> 個人のエンパワーメントを高めるプロダクトサービス。
	HP www.prail.ai
RE:BOTTOLE A (リボトルアクション)	しっかり分別して、もう一度ペットボトルに戻す「ボトル to ボトル」の取り組み。

●小田急グループが取り組む MaaS (Mobility as a Service)

「会いたいときに、会いたい人に、会いに行ける」次世代の“モビリティ・ライフ”の実現を目指して、自動運転バスや利用者のリクエストに応じて配車するオンデマンド交通などの実証実験の実施や多様なモビリティや目的地での活動を、検索から予約・決済まで、シームレスに利用者に提供する MaaS の実現に向けた取り組みを推進しています。



江の島自動運転バス (2021年1月)



オンデマンド交通「しんりゅシャトル」
(2021年2～5月)

2019年10月には、MaaSアプリ「EMot (エモット)」をサービスインし、複合経路検索やフリーパスなどの電子チケット発行機能に関するサービスについて、新百合ヶ丘や箱根エリアなどで取り組みを進めています。

また、サービスに必要なさまざまなデータや機能を取りまとめるための共通データ基盤「MaaS Japan」をオープンにすることで、提供するサービスを拡充するとともに小田急沿線以外でも MaaS のサービスを展開しています。

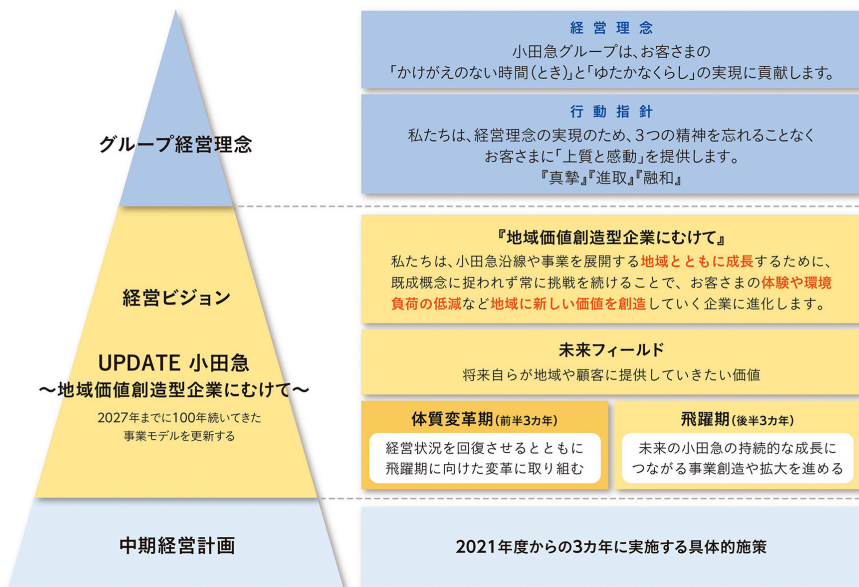
もっといい「いきかた」



小田急グループの経営計画体系とブランドマーク

経営計画体系

グループ経営理念の実現とさらなる事業成長を遂げるため、2027年までに取り組むべき方向性を経営ビジョンでまとめています。その経営ビジョンに基づく3カ年のアクションプランが中期経営計画です。



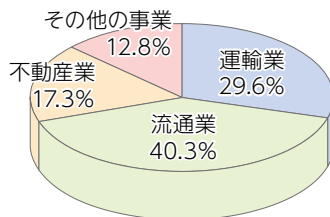
グループブランドマーク

このブランドマークは、「豊かな沿線環境のもとに、自然・歴史・都市文化の新しい融合、豊かな生活の創造、より多くの上質と感動を提供していく小田急グループ」を表現しています。



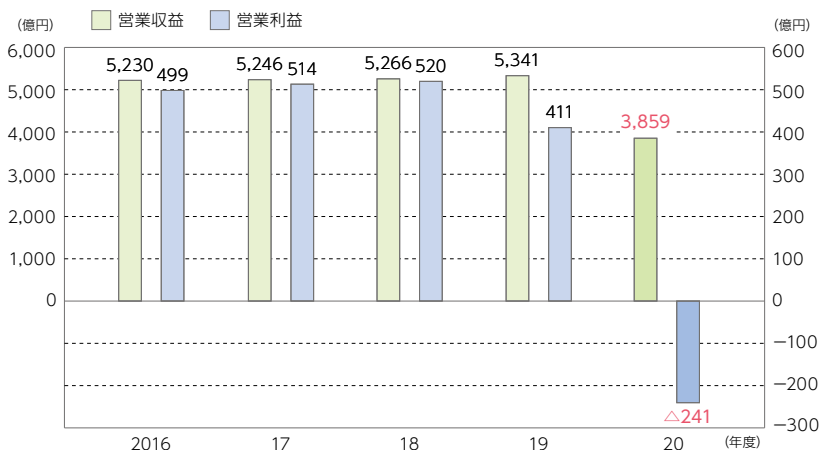
2020年度連結営業収益の構成比

	2020年度
運輸業	1,162億30百万円
流通業	1,576億85百万円
不動産業	728億72百万円
その他の事業	681億31百万円
消去	△289億41百万円
連結営業収益	3,859億78百万円



※構成比率は外部顧客に対する売上高に基づき算出しています

連結営業収益・営業利益の推移



※一億円未満は切り捨てて表示しています

※連結子会社数は39社、持分法適用関連会社数は1社です

▶業績、IR活動について詳しくは、ホームページをご覧ください。

HP www.odakyu.jp/ir/

ダイバーシティ&インクルージョン

多様な人材の活用と働きやすい職場環境づくり

●ダイバーシティ&インクルージョンの推進

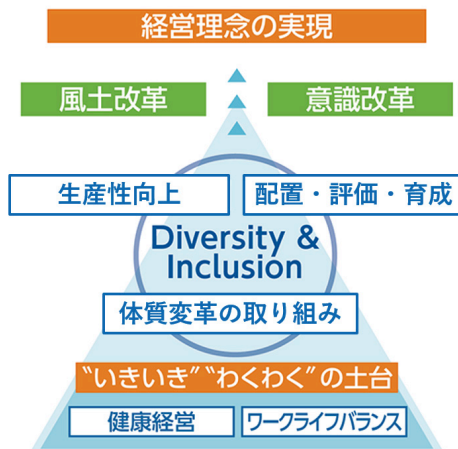
当社では、「小田急電鉄 ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を制定し、「『認め合う 活かし育む 創り出す』～多様性を認め合い、個の力を活かし育み、新たな価値を創り出す組織へ～」と題して、多様な人材の活用を企業成長につなげていく指針としています。



宣言文を発表する星野社長

▷推進体制

ダイバーシティ & インクルージョンは、健康経営とワークライフバランスを土台に、ダイバーシティ・働き方改革・人材育成のシナジー効果を引き起こすことによって風土や意識を改革し、一人ひとりの価値創造・イノベーションの創出につなげます。



▶ダイバーシティ&インクルージョンについて詳しくは、ホームページをご覧ください。

HP www.odakyu.jp/company/diversity

人材マネジメントポリシー「価値創造型人材」

経営ビジョン「UPDATE 小田急」や人材マネジメントポリシーに基づき、配置・評価・育成の各施策の推進を行っています。

価値創造型人材

小田急で働くすべての人が
「UPDATE 小田急」につながる
新しい価値を創造していく

<大切にしたいこと>

- ☒ 自分の仕事を通して地域に「価値」を生み出していくこと
- ☒ 「価値」とは、お客さまや共に働く仲間たちの心を動かし、
会社やビジネスパートナーの発展に寄与し、
そして地域とともに自分自身の成長を生み出していくこと

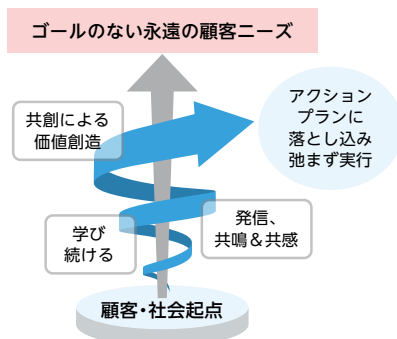


そうして多様かつ持続的に価値の総和が積みあがることで、
「UPDATE 小田急～地域価値創造型企業にむけて～」の実現につながっていく

価値創造型人材の行動原理

地域に新しい価値を
生み出す人材とは？

- ① 「顧客とは？ 社会とは？」を自分ごととして問い続け、自ら学び続ける
- ② 顧客や社会にとっての価値を内部のみではなく、外部に積極的に発信して、共鳴、共感を得る
- ③ 自前主義、委託主義を脱却し、最適なパートナーとともに、多様な視点から共創し、価値を創造していく





Chapter 2

小田急グループのCSR

当社グループは、創業当初から「地域社会とともに発展する」という思いを持って事業を展開してきました。この思いは脈々と今も受け継がれ、「お客さまの『かけがえない時間』と『ゆたかな暮らし』の実現に貢献する」という、現在の当社グループ経営理念を形づくっています。この経営理念の実現を目指し、日々の業務を誠実に遂行しつつ、社会とともに持続的に発展していくことが当社グループのCSR（企業の社会的責任）です。

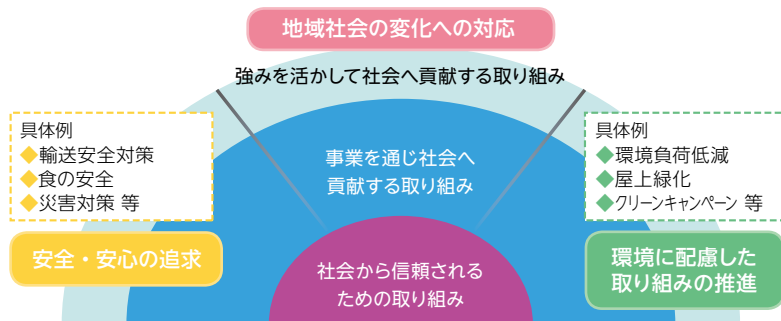
小田急グループのCSR

当社グループは多様な事業を通してお客さまの暮らしに深く関わっていることから、社会的責任を果たすための取り組みの方向性として3層の活動領域と3つの重点分野を定めています。

小田急グループのCSRの定義

日々の業務を誠実に遂行することで、
お客さまの「かけがえない時間」と「ゆたかな暮らし」の実現に貢献し、
社会とともに持続的に発展していくことが、
私たち小田急グループの果たすべき社会的責任です。

具体例 ◆輸送サービスの改善 ◆子育て・スポーツ支援 ◆バリアフリー対策 等



【3層の活動領域】

社会から信頼されるための取り組み

リスクマネジメント、コンプライアンスなど、ステークホルダーから信頼を得るための活動で、事業活動の前提となるもの。

事業を通じ社会へ貢献する取り組み

有用な商品やサービスの提供を通じて、社会の課題や要請に応えるという活動。

強みを活かして社会へ貢献する取り組み

グループが持つ人的・物的資源やノウハウといった強みを活かして、事業以外でさらに社会の課題や要請に応じていく活動。社会貢献活動や地域コミュニケーション活動など。

【3つの重点分野】

安全・安心の追求

生活における安全・安心を求める声に対応し、あらゆる生活シーンで「安全・安心」の提供に努める。

地域社会の変化への対応

少子高齢化など地域における変化に対応し、多くの方に暮らしやすい沿線づくりに努める。

環境に配慮した取り組みの推進

環境問題に対する意識の高まりに対応し、地域にお住まいの方々と協働して、地域社会の自然環境の保全とともに、自然と親しむ機会の提供に努める。

3層の活動領域の取り組み例

社会から信頼されるための取り組み

●コーポレート・ガバナンス体制

当社では監査役制度を採用しており、本制度の下で効率性、健全性の高い経営を目指し、コーポレート・ガバナンス体制の強化に取り組んでいます。当社の取締役会(2020年度は13回開催)は、社外取締役4名を含む12名で構成され、重要な業務執行、その他法令で定められた事項について決定を行うほか、業務執行の監督を行っています。監査役は社外監査役3名を含む5名で、各監査役は、監査役会(2020年度は10回開催)が定めた監査役監査基準等に準拠し、監査の方針、監査計画等に従い、取締役会その他重要な会議への出席、重要な決裁書類の閲覧、業務および財産の状況の調査、内部統制システムの構築および運用の状況の監視および検証等を通じて厳正な監査を実施しています。また、当社では、取締役会の業務執行に対する監督機能の強化および意思決定の最適化を図るため、業務執行を担当する取締役や部門長で構成される執行役員制度を採用しています。加えて、取締役および監査役の指名ならびに取締役の報酬等に係る取締役会の機能の独立性、客観性と説明責任を強化するため、取締役会の諮問機関として、過半数が独立社外取締役で構成される指名・報酬諮問委員会を設置しています。委員会は、指名および報酬等に係る基本方針や株主総会議案の原案等について審議し、その結果を取締役に答申します。

●内部統制システム

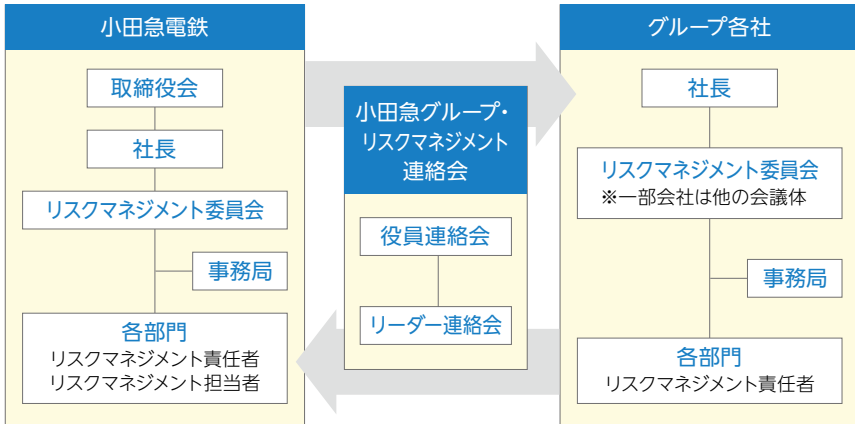
当社グループは、「お客さまの『かけがえのない時間(とき)』と『ゆたかなくらし』の実現に貢献します。」という経営理念を掲げています。当社グループでは、この経営理念の実現を通じて、社会とともに持続的に発展していくことがその果たすべき社会的責任(CSR)と捉えており、内部統制システムの構築はそのために必要不可欠な要素であるとの認識から、「内部統制システム構築の基本方針」に沿って、内部統制システムの構築を積極的かつ継続的に進めています。なお、グループ各社においては、当該グループ各社の事業内容、規模、当社グループ全体に与える影響等を考慮して、基本方針の各項目を適用します。

●リスクマネジメント・コンプライアンス

▷リスクマネジメントの取り組み

当社グループでは、リスクマネジメントの推進における基本的事項を定めた「小田急グループリスクマネジメント方針」を2008年10月に制定しました。これに基づきグループ各社では、「リスクマネジメント委員会」を軸とした推進体制を構築し、リスクの洗い出しや個別リスクへの対応を行うとともに、主要なグループ会社で構成する「小田急グループ・リスクマネジメント連絡会」を通じて情報共有や連携を図っています。また、こうした取り組みを小田急電鉄のリスクマネジメント委員会が統括し、グループレベルでのリスクの把握や、対策の検討を行っています。

＜小田急グループのリスクマネジメント体制図＞



リスクマネジメントの基本は、未然防止（被害を最小限に止めるための事前の対策）と事業継続活動（発生時の事業継続と早期復旧）という2つのステップにおいて、適切な意思決定を行い、これを実行することにあります。リスクマネジメント委員会では、これらを確実なものとするための取り組みを進めています。

▷ 未然防止

リスクを未然に防止するため、グループ全体で統一的手法による重要なリスクの洗い出し、これを基にしたリスク対策の実行、見直しというマネジメントシステムを導入することで継続的な取り組みを務めています。

▷ 事業継続活動

地域のインフラを担う、あるいは大規模な商業施設を持つ企業として、いつでもリスクが顕在化し危機的状況が起きる可能性があるという前提に立ち、緊急時における組織や権限などを明確にした危機管理規則を制定するとともに事業継続計画（BCP）を作成しています。さらに、緊急時において経営層から現場の第一線までが適切に行動できるよう、それぞれの役割に応じた訓練を実施しています。

▷ コンプライアンスの取り組み

当社グループでは、コンプライアンスをリスクマネジメントの一環と位置付け、「法令、社内規則、社会通念などのルールを守るとともに、誠実に事業活動を実践していくための考え方やその取り組み」と定めています。そして、役員・社員が守るべきコンプライアンス上の行動基準と情報の取扱規定をまとめたコンプライアンスマニュアルおよび情報セキュリティハンドブックを策定、配布するとともに、コンプライアンス意識を高めるために、各種研修を実施しています。

また、コンプライアンスに反する行為を発見した社員が、その事実を通報できる窓口として「コンプライアンス・ホットライン」を設置することで、コンプライアンス違反の早期発見を図るとともに適切な是正措置および再発防止策を講じています。



コンプライアンス
マニュアル



情報セキュリティ
ハンドブック

3つの重点分野の取り組み例

安全・安心の追求

当社では、鉄道事業法第18条の3の規定に基づく「安全管理規程」を2006年10月に制定するとともに、「小田急電鉄は、日本一安全な鉄道をめざします。」を基本理念に掲げ、安全性向上のための設備の維持・改善のみならず、安全管理体制の整備を通じて輸送の安全・安心の向上を図っています。グループとしても、2008年度より毎年、当社グループの交通事業者（鉄道、索道、バス、タクシー、船舶）の安全統括管理者ならびに運転管理者などが出席して、各社の安全マネジメントに関する取り組みの発表や情報交換などを行う「小田急グループ交通事業者安全統括管理者会議」を開催するなど、全社的に安全マネジメント体制強化を推進しています。なお、2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン形式で実施しました。



小田急グループ
交通事業者安全統括管理者会議

地域社会の変化への対応

●子育てしやすい生活環境の一層の整備

沿線にお住まいのお客さまの多様化するニーズに合わせて、子育て支援施策の拡充に取り組んでいます。当社は学童保育施設「小田急こどもみらいクラブ」の運営を行っているほか、子育てに役立つ情報を集めた「小田急の子育て応援ナビ FunFanおだきゅう」やさまざまな学びや発見を楽しむウェブサイト「おだきゅうキッズ」を開設しています。



キッズサイト「おだきゅうキッズ」

●シニア向け住宅

少子高齢化に伴い増加するシニア層に向けて、安心して暮らせる住まいをご提供するためシニア向け住宅事業を展開しています。

沿線4カ所で展開するサービス付き高齢者向け住宅「レオダ」では、スタッフが24時間常駐し、安否確認や生活相談、食事提供サービスなどをご提供することで、安心かつ充実したシニアライフをお届けします。

●お客さまとのコミュニケーション活動

▷ ロマンسカーミュージアム

2021年4月に開業した「ロマンсカーミュージアム」は、歴代の特急ロマンсカーを中心とした6車種11両の車両展示に加え、沿線を再現した約190㎡の巨大ジオラマやロマンсカー運転シミュレーターなどの多彩なコンテンツを備えており、お客さまとのコミュニケーション活動の拠点となっています。



ロマンсカーミュージアム

▷ 小田急グループ 親子体験イベント

当社グループでは、2000年より、小田急沿線にお住まいの親子を対象に、グループ各社の仕事などを体験していただく「小田急グループ 親子体験イベント」を開催しています。



ファミリー鉄道教室

▷大野総合車両所 親子見学会

沿線の小学生と保護者の方を対象とした、大野総合車両所の安全への取り組みや仕事内容を紹介する「大野総合車両所 親子見学会」を開催しています。



大野総合車両所 親子見学会

●スポーツ支援活動

家庭婦人バレーボールチームに対して、丸山由美(元日本代表) 講師による技術指導を行っているほか、各種大会協賛を行っています。また、沿線のJ2リーグ所属のサッカーチーム「FC町田ゼルビア」に対して、2009年より協賛しています。



FC町田ゼルビア

●産学連携

沿線に所在する大学や専門学校などの教育機関と連携し、当社および当社グループにおける幅広い事業フィールドを活用した教育・研究、社会貢献活動を推進しています。

2012年に専修大学、文化学園大学、2013年に成城学園、2015年には玉川大学などと「連携・協力に関する基本協定」を締結し、具体的な取り組みを進めています。

●公益財団法人 小田急財団

小田急財団は、1984年に設立された財団法人安藤記念奨学財団と、1992年に設立された財団法人小田急電鉄事業団の公益活動を承継し、「小田急沿線を中心とする沿線地域社会の健全な発展への貢献」を目的とする公益財団法人として2012年4月に設立されました。

交通安全や交通道德の普及啓発活動をはじめ、沿線の豊かな自然環境の保全・整備のための活動やスポーツを通じた障がい者の自立支援活動、地域社会の発展を担う青少年の育成のための「安藤記念奨学金」の給付や若手研究者に対する研究助成など、さまざまな公益活動を行っています。

環境に配慮した取り組みの推進

●省エネルギー化の推進

鉄道はエネルギー効率に優れた交通手段ですが、走行する際には大量の電気を必要とするため、特急・通勤車両を含め全ての車両に回生ブレーキを搭載したほか、鉄道施設や車内照明のLED化を図り、省エネ化を推進しています。また、小田急百貨店 新宿店の空調熱源を高効率のものへ更新したほか、駅隣接の大型商業施設の照明器具をLED化するなど、環境負荷低減に努めています。



車内照明のLED化

●騒音・振動の低減

騒音・振動などは、沿線にお住まいの方の暮らしに関わる身近な問題として、その低減に向けて、レールの改良や保守、音を遮断する防音壁や音を吸収する吸音パネルの設置など、さまざまな取り組みを行っています。



ロングレール(弾性マクラギ砕石軌道)

●自然との共生への取り組み

小田急沿線には、変化に富んださまざまな自然が広がっており、当社ではその自然を保全し、お客さまに親しんでいただくために、行政やNPOなどと連携をとりながら、継続的な活動に努めています。「小田急沿線 自然ふれあい歩道」では、沿線の魅力的な自然資源や文化財を気軽に楽しみ、その大切さを理解していただくため、小田急線の駅を起・終点にした全70コースを選定し、ホームページで紹介しています。



自然ふれあい歩道のオリジナルマップ

▶環境の取り組みについて詳しくは、ホームページをご覧ください。

HP www.odakyu.jp/company/socialactivities/environment_consideration/

鉄道部門

当社は、役員・社員の一人ひとりが常に心がけるべきものとして、[小田急電鉄は、日本一安全な鉄道をめざします。]との基本理念を掲げています。

小田急電鉄は日本一安全な鉄道をめざします

題字：小田急電鉄株式会社 取締役社長 星野晃司

2020年度鉄道事業成績

営業キロ	客車走行キロ		輸送人員	延人キロ	運輸収入
キロ	千キロ	定期外	193,262 千人	2,562,474 千人キロ	43,575,666 千円
120.5	192,347	定期	331,963 千人	5,018,828 千人キロ	34,290,929 千円
		その他	—	—	3,191,148 千円
		計	525,225 千人	7,581,302 千人キロ	81,057,743 千円



当社路線の概要

小田急は、新宿を起点に、箱根の玄関口である小田原までを結ぶ「小田原線」、湘南エリアに至る「江ノ島線」、多摩ニュータウンに至る「多摩線」の3路線、計120.5km(全70駅)からなり、通勤・通学や観光路線として、2020年度は1日約144万人のお客さまにご利用いただいています。また、利便性向上を図るため、東京メトロ千代田線・JR東日本常磐線(緩行)をはじめ、箱根登山鉄道やJR東海御殿場線への乗り入れを行っています。



路線概要

【営業キロ】

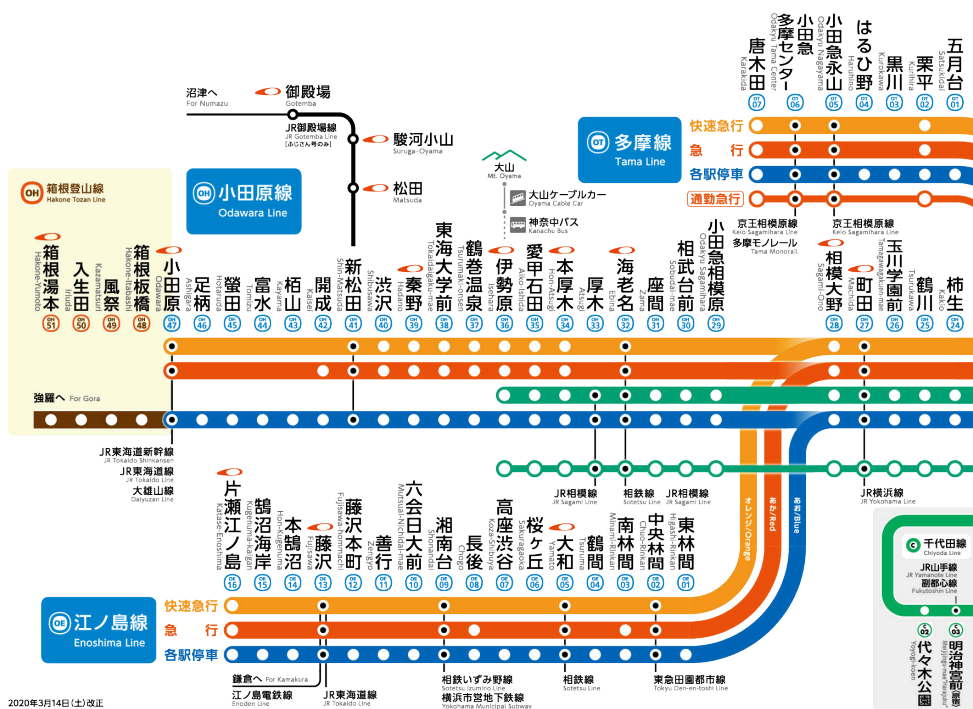
●小田原線	新宿～小田原	82.5km
●江ノ島線	相模大野～片瀬江ノ島	27.4km
●多摩線	新百合ヶ丘～唐木田	10.6km
合計		120.5km

【乗入区間】

●千代田線	代々木上原～綾瀬	21.9km
	綾瀬～北綾瀬	2.1km
●常磐線(緩行)	綾瀬～取手	29.7km
●箱根登山線	小田原～箱根湯本	6.1km
●御殿場線	松田～御殿場	25.3km
合計		85.1km

路線略図

odakyu 停車駅のご案内 Odakyu Line Route Map



当社路線の概要

 **特急ロマンスカー停車駅**
Limited Express "Romancecar" Stop Station

 **他社線のりかえ駅**
Transfer Station

 **平日下り 18:00-21:00は通過**
Outbound trains do not stop here between 18:00 and 21:00 on weekdays.

快速急行 Rapid Express
オレンジ/Orange

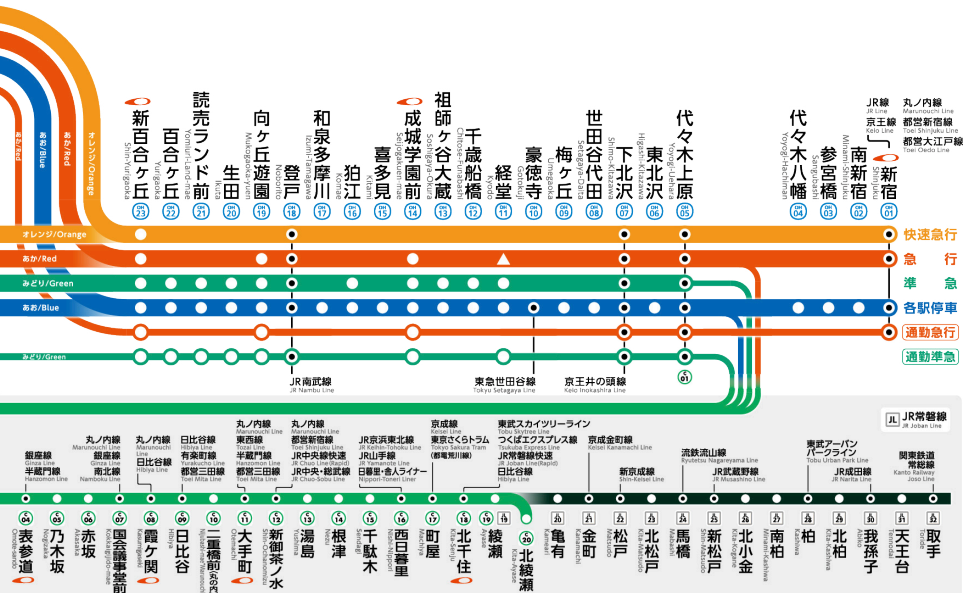
急行 Express
あか/Red

準急 Semi Express
みどり/Green

各駅停車 Local
あお/Blue

通勤急行 Commuter Express
あか/Red

通勤準急 Commuter Semi Express
みどり/Green

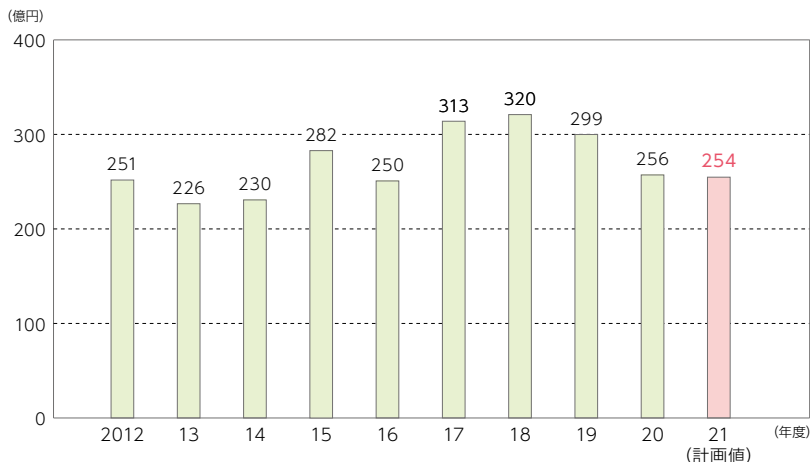


鉄道部門

設備投資

当社では、複々線が完成したことなどにより輸送力の増強が図られたことから、「安全対策の強化」「サービスの向上」を中心に、設備投資を実施しています。

鉄道部門の設備投資額の推移



2021年度の設備投資計画

1. 安全対策の強化

新宿駅(8、9番ホーム)と登戸駅(3、4番ホーム)にホームドアを設置し、今年度中に使用開始します。これらには「ホームドア自動開閉制御システム」を採用し、継続してホーム上の安全性確保に努めます。また、小田急線に点在する法面の強度向上と橋梁の耐震補強、多摩線における排水設備の整備を進めます。

2. サービスの向上

通勤車両「5000形」を4編成増備し、通勤車両「1000形」を2編成リニューアル。通勤時間帯を中心とした、さらなる快適な輸送サービスの実現に努めます。そして、大和市の「中央林間地区街づくりビジョン」に基づき、中央林間駅に東口改札を新設します。この駅改良工事にあわせてホームドアの設置も行います。

安全対策の強化

駅・ホームの取り組み

●ホームドア

お客さまのホームからの転落や列車との接触を防止するホームドアを、2012年9月に新宿駅急行ホーム（4、5番ホーム）に設置したほか、これまで代々木八幡駅・代々木上原駅・東北沢駅・下北沢駅・世田谷代田駅・梅ヶ丘駅・登戸駅（1、2番ホーム）に設置しました。

また、2021年度は、新宿駅（8、9番ホーム）・登戸駅（3、4番ホーム）に設置します。さらに、1日の利用者数10万人以上の駅へ優先して設置を進めていきます。

※新百合ヶ丘駅および藤沢駅については、大規模改良工事に併せて整備を計画



下北沢駅のホームドア

●ホーム注意喚起システム

お客さまと列車との接触ならびにホーム上での安全確保の観点から、点字ブロック（黄色い線）より線路側にいらっしゃるお客さまをセンサーで検知し、注意喚起放送を行うシステムを一部の駅・ホームに設置しています。

このシステムは、列車がホームへ進入および発車する時または、列車が停車していない時などに注意喚起放送を行い、お客さまの安全確保に努めています。



ホーム注意喚起システム

●非常停止ボタン

お客さまが線路に転落した場合など、当該駅に接近している列車を緊急停止させる「非常停止ボタン」を全駅に備え付けています。

●転落検出マット

曲線ホームには、乗降時、お客さまが転落した場合に列車を緊急停止させるため「転落検出マット」を設置しています。



非常停止ボタン

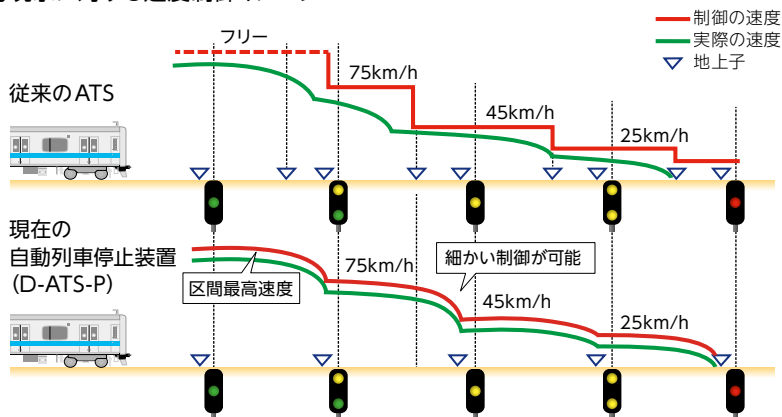
車両の取り組み

●ATS(自動列車停止装置)

ATSは、列車が制限速度を超えて信号機や急曲線、分岐などを通過しようとした際に、自動的にブレーキを作動させて減速または停止させる装置です。当社では2015年度よりD-ATS-P*を全線で導入しています。この装置は、従来のATSと比較して、レールからの信号現示情報や、地上子による距離情報などの多くの情報の授受ができるため、細かな速度制御が可能であり安全性が向上するとともに、情報をリアルタイムに列車へ伝達することができるため、信号が上位に変化した時に速度アップするまでの間隔が短くなり運転効率も向上します。

※D-ATS-P : Digital Automatic Train Stop Patternの略

信号現示に対する速度制御イメージ



●脱線防止ガード

曲線半径400m未満の全ての曲線と全ての側線用分岐器および曲線半径150m未満の曲線を有する分岐器に脱線防止ガードを設置し、列車の走行安全性を確保しています。

また、踏切事故が発生した際の被害を軽減するため、踏切部への脱線防止ガード設置を2019年度より進めています。

●運転状況記録装置

事故が発生したときなどに情報を活用できるよう、列車の速度やブレーキなどの運転状況を記録する装置を全ての車両に設置しています。

●防護無線

列車運行中に事故などの異常が発生した際、付近を走行する列車にもその情報を瞬時に伝えて緊急停止させる「防護無線」を全ての列車に導入しています。

●緊急ブレーキ装置

運転士に、体調の急変など不測の事態が発生した際にも安全を確保することができるよう、運転士が1分以上、加速やブレーキなどの操作を行わない場合には、非常ブレーキがかかるEB装置(運転士異常時列車停止装置)を導入しています。

●閉扉時の安全対策

通勤車両は、閉扉時に物などが挟まることにより「11mm以上」の隙間が生じた場合、列車を運行することができないシステムになっています*。また、閉扉時に一時的に扉の圧力を弱める機能を順次設置し、扉に挟まれた際の事故防止を図っています。

※通勤車両4000形、5000形を除く

●運輸司令所

相模大野にある運輸司令所では、OTCを活用し、全線全列車の運行を24時間体制で管理しています。



運輸司令所

▷OTC(小田急型列車運行管理システム)

OTCは、駅の信号機やポイントなどをコンピューターで自動制御するシステムです。1990年に全線への設置が完了しています。

■保守の取り組み

●車両

1,000両以上ある車両の検査を確実かつ効率的に行うため、一定の周期ごとに検査項目を定め、相模大野にある総合車両所と、喜多見・海老名にある検車区で、計画的な保守点検を実施しています。

●軌道・架線

終電から初電までの短い時間に行われる保守作業の効率化を図るとともに、精度を一層高めるため、高性能の大型保守作業車を積極的に導入しています。

踏切の取り組み

●立体化等による踏切の廃止

踏切における安全対策として、最も効果的なものは、線路と道路との立体交差化による踏切の廃止です。1955年以降、現在に至るまで、計247カ所の踏切を廃止してきました。今後も、自治体などと協議しながら、立体化や統廃合による踏切の廃止を進めます。



踏切を廃止し整備された
向ヶ丘遊園駅連絡通路

●踏切支障報知装置

踏切内で車がエンストするなどした際、非常ボタンを押すことにより、特殊信号発光機が、接近する列車に異常を知らせて緊急停止させる「踏切支障報知装置」を全踏切229カ所に設置しています。



踏切支障報知装置

●踏切障害物検知装置

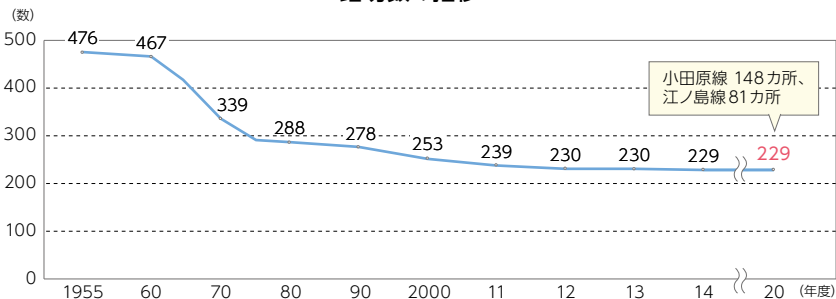
踏切内の障害物を検知する「踏切障害物検知装置」を139カ所の踏切に設置しています。障害物を検知した場合には、自動的に「踏切支障報知装置」を作動させ、付近の列車を緊急停止させます。

また、2016年度より検知能力の高い新たな踏切障害物検知装置の導入を進めています。



踏切障害物検知装置

<踏切数の推移>



災害・事故対策

●法面改修

大雨による土砂崩壊などの被害を抑制するため、愛甲石田駅～伊勢原駅間、東海大学前駅～秦野駅間において法面の強度向上を図る改修工事を進めます。また、多摩線では排水設備の整備などにより健全度の向上を図ります。



改修後の法面

●耐震補強

大規模地震に備えるため、橋梁などの耐震補強に取り組んでいます。2021年度からは、町田駅～相模大野駅間および渋沢駅～新松田駅間にある橋梁の耐震補強を進めます。



第2四十八瀬川橋梁
(渋沢駅～新松田間駅間)

●異常時を想定した合同訓練

年に1度、踏切事故による列車脱線などの重大事故を想定した「異常時総合訓練」を実施しています。この訓練は、乗務員、駅係員、車両、工務、電気関係の係員など列車運行に関わる全部署および警察・消防機関が参加するもので、重大事故が発生した場合の人命の救助および早期復旧を目的に行われています。

このほか、大規模な地震災害などを想定した「総合防災訓練」や、列車内や鉄道施設でのテロ行為を想定した「鉄道テロ対応訓練」など各種訓練を実施し、関係部門の連携強化と技能の向上・伝承に努めることで、事故や災害など不測の事態に備えています。



異常時総合訓練

▶安全対策の強化について詳しくは、当社の『安全報告書』をご覧ください。

[HP] www.odakyu.jp/csr/safety/safety_report/

サービスの向上

駅・ホームの取り組み

●駅の段差解消

移動の支障となる段差を解消するため、エレベーターや車いす用スロープの設置を進めてきました。これまでに全70駅で改札口から各ホームまで段差なく移動できるようになっています。



エレベーター

●多目的トイレ

車いすをご利用のお客さまやオストメイト*のお客さま、小さなお子さま連れのお客さまにも安心してご利用いただける「多目的トイレ」の設置を進めています。現在、全70駅のトイレが車いす・オストメイト対応になっています。

※人工肛門や人工ぼうこうをお持ちのお客さま



多目的トイレ

●筆談器

耳の不自由なお客さまがご利用しやすいよう、全駅の改札口に筆談器を設置しています。

●誘導チャイム、触知案内板

目の不自由なお客さまがご利用しやすいよう、全ての券売機に点字案内を備え付けているほか、改札口や券売機などの場所をご案内する「触知案内板」を全駅に設置しています。また、「誘導ブロック」や改札口の場所を音で知らせる「誘導チャイム」を全駅に設置しています。さらにホームから出口に通じる階段の位置を、鳥のさえずり音でお知らせする装置の設置を進めています。



筆談器

●サービス介助士

お身体の不自由なお客さまや高齢のお客さまの、歩行介助や車いすの介助など、列車の乗り降りや駅構内の移動を適切にお手伝いすることのできる知識、技能を習得した者に与えられる民間資格「サービス介助士」を取得した係員を配置しています。



安心のサービス介助士マーク

駅の改良

●中央林間駅に東口改札を新設

大和市が策定した「中央林間地区街づくりビジョン」に基づき、市と協議を進め、北口と南口の2カ所に加えて、東口新改札口を2021年中(秋ごろ予定)に供用開始します。東側への改札新設により、駅北東方面へのアクセスが向上し、連絡通路の混雑緩和も期待されます。



中央林間駅(イメージ)

<近年の主な大規模工事実施駅>

●参宮橋駅

「木と緑に溶け込む『杜』の玄関口」をコンセプトに、周辺には代々木公園や参宮橋公園があり、街路樹や植栽が豊かな環境であることから、駅舎にも木材を使用しています。この改良工事に伴い、トイレも改修し、2020年1月より供用を開始しています。



参宮橋駅

●片瀬江ノ島駅

本格的な竜宮造りを取り入れ、屋根上にはイルカの像を設置したり「五頭竜と天女の伝説」をイメージした装飾を施すなど、品格と遊び心が共存する新駅舎として2020年7月に完成しました。改札口の間には新江ノ島水族館とコラボレーションした「クラゲ水槽」を設置し、ライトアップも毎日実施しています。



片瀬江ノ島駅

車両の取り組み

●車いすスペース

下記の通勤車両・特急車両に車いすスペースを設置しています。

車いすスペース設置車両	
通勤車両	5000形、4000形、3000形、2000形、1000形の一部、8000形
特急車両	GSE(70000形)、MSE(60000形)、VSE(50000形)、EXE・EXEα(30000形)



車いすスペース

▷通勤車両「5000形」

新造車両の「5000形」では、各車両に1カ所の車いすスペースを設置しています。空気清浄機や車内防犯カメラも設置され、安心感や優しさのある車内環境となっており、2021年度は4編成増備する予定です。



「5000形」の車いすスペース

●非常通報装置

列車の運行中に急病人が生じた場合などに、乗務員に異常を知らせる非常通報装置を全車両に設置しています。また、下記の通勤車両・特急車両には、乗務員と直接通話することのできる「対話式非常通報装置」を備えています。



対話式非常通報装置

対話式非常通報装置設置車両	
通勤車両	5000形、4000形、3000形、2000形、1000形の一部、8000形
特急車両	GSE(70000形)、MSE(60000形)、VSE(50000形)、EXE・EXEα(30000形)

■観光・インバウンドの取り組み

●通訳サービス

係員が所持する電話を介して委託会社のオペレーターに通訳を依頼し、お客さまと直接通話してご案内する通訳サービスを導入しています。対応言語は5言語(英語、中国語、韓国語、スペイン語、タイ語)で、小田急線全駅および箱根エリアのグループの交通結節点や駅のほか、新宿のグループ商業施設などでサービスを展開しています。

●携帯通訳機「POCKETALK®W」の導入

海外のお客さまへのご案内強化として、2019年2月から小田急線全70駅で計92台、世界74言語に対応した「POCKETALK®W(ポケットーク)」を導入しています。

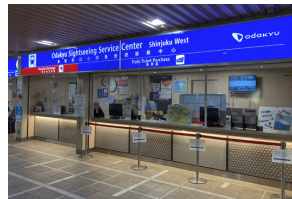
双方の音声を指定の言語で自動的に翻訳し、音声により出力することで対話が可能になります。



「POCKETALK®W」

●小田急旅行センター

訪日外国人旅行者を中心に乗車券・フリーパス各種の販売や手荷物預かりサービスを、新宿西口および新宿南口、小田原駅の3カ所で提供しています。全ての旅行センターがJNTOビジット・ジャパン案内所として認定され、観光案内の拠点となっています。



小田急旅行センター新宿西口

●駅施設の案内サイン類の多言語化

駅の誘導サインや規制サインは、ピクトグラムのほか、多言語での表記を行っています。特に、鉄道の安全に関わる設備や多くの方の目に触れる駅名表示などは4カ国語での表記を進めています。

●無料Wi-Fiの設置

2014年12月から、国内外のお客さまにご利用いただける無料Wi-Fiサービス「odakyu Free Wi-Fi」を提供しています。



「odakyu Free Wi-Fi」
マーク

情報・その他の取り組み

●小田急アプリ

小田急アプリでは、列車の走行位置をはじめ、指定した駅における直近列車の種別・行先・発車時刻、発着番線や駅付近のバス情報、接続他社とのアプリ連携など、小田急線をご利用されるお客さまに役立つ情報を提供しています。

また「小田急ポイントアプリ」や電子チケット購入・経路検索のためのMaaSアプリ「EMot」と連携して、多様なサービスを提供しています。



「小田急アプリ」鉄道・バス画面

●小田急お客さまセンター

お客さまからのお問い合わせや、ご意見・ご要望にお応えするため、1996年に「小田急ボイスセンター」を開設しました。2004年からは特急券の予約受付機能を付加し、「小田急お客さまセンター」として営業しており、音声ガイダンスに従って利用目的をご選択いただくと、担当の係員が対応するシステムになっています。

なお、当社にお寄せいただいたご意見・ご要望はデータベース化し、各種施策の改善に反映しています。

▷お忘れ物総合取扱所

2019年7月1日に小田急線登戸駅高架下に「お忘れ物総合取扱所」を開設しました。同取扱所では小田急線全線のお忘れ物を集約し、3カ月間保管します（一部を除く）。また、自動倉庫管理システムの導入によってお忘れ物を厳正に管理し、よりスムーズなお忘れ物検索を実現し、お客さまの待ち時間の短縮を図ります。

●AED (Automated External Defibrillator)

2008年3月から運行を開始したロマンスカー・MSEに鉄道車両として国内で初めてAED（自動体外式除細動器）を設置し、現在では運行している全てのロマンスカーおよび全駅に設置しています。

●業務用スマートフォンの活用

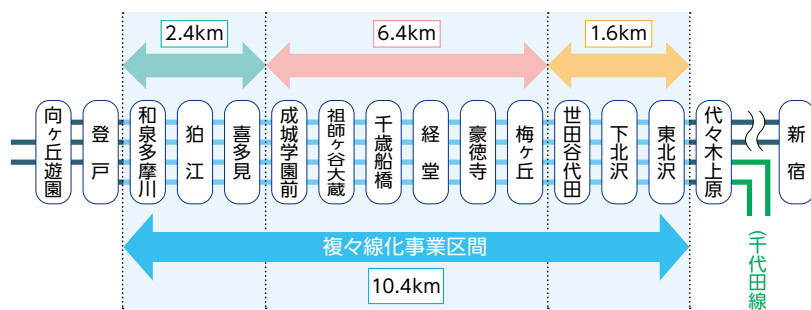
業務用スマートフォンを活用し、駅では専用のアプリによりお手伝いが必要なお客さまのご案内、乗務員はロマンスカー車内での巡回業務や、インバウンド対応に活用しています。また、情報共有ツールとしても活用し、迅速なお客さまへの情報提供に役立てています。端末は各駅70駅に配備されているほか、車掌も携帯しています。

複々線化事業

事業の概要

当社では、快適な輸送サービスを実現するための抜本的な輸送改善策として、東北沢～和泉多摩川間(10.4km)の複々線化事業に取り組みました。複々線化事業は、東京都の都市計画事業である連続立体交差事業と一体的に、事業化の目途が立った箇所から3地区に分けて進めました。計画から約50年、着工から約30年の年月を経て、2019年3月をもって事業が完了しました。

これにより、列車の増発と混雑緩和、速達性の向上といった輸送サービスの改善が図られました。



●連続立体交差事業

東北沢～和泉多摩川間の複々線化事業は、東京都の都市計画事業である「連続立体交差事業」と一体的に進めました。2013年3月には、東北沢～世田谷代田間において、地下化による立体化が完了し、事業区間にあった39カ所の踏切が全て廃止となりました。



地下化に伴い廃止となった
東北沢6号踏切

特急車両(ロマンスカー)

1957年就役のSE(3000形)から続く、当社の代名詞「ロマンスカー」。現在は5車種をラインアップし、観光はもちろん、通勤やショッピングの足としてお客さまにご利用いただいています。

小田急ロマンスカー

●GSE(70000形) Graceful Super Express

2018年3月就役。展望席の前面窓に大型の1枚ガラスを使用し、先頭車両は荷棚をなくすなど、よりダイナミックな眺望と開放的な車内空間が特長。



●MSE(60000形) Multi Super Express

2008年3月就役。東京メトロ線内に乗り入れる初の座席指定特急。新宿駅～JR御殿場駅間を結ぶ「ふじさん号」としても運用される。



●VSE(50000形) Vault Super Express

2005年3月就役。箱根観光用のロマンスカーとして、ドーム型の天井やゆとりあるシートピッチの採用などで、居住性の向上と快適な乗り心地を追求。



エクスセアルファ ●EXEα(30000形) Excellent Express α

2017年3月就役。大きな荷物を収納するためのラゲージスペースの設置など、EXEに“プラスアルファ”の要素を加えたリニューアル車。



エクスセ ●EXE(30000形) Excellent Express

1996年就役。6両と4両に分割でき、観光だけでなく通勤など多様な運行に応えられる。



通勤車両

●5000形

2020年3月就役。各車両に車いす・ベビーカースペースを設け、通勤車両では当社初の車内防犯カメラや空気清浄機を設置。万が一の衝突時のためにアンチクライマーを搭載。



●4000形

2007年就役。東京メトロ千代田線への直通運転車両として運行を開始。通勤車両としては当社初の全密閉式の主電動機（モーター）を採用。



●3000形

2002年就役。当社初の純電気ブレーキを採用した車両で、除湿・急速暖房機能を搭載し、低床化によりホームとの段差を縮小し、バリアフリー化を推進。



●2000形

1995年就役。1000形をベースに、扉幅をワイド化。車いすスペースに対話式通報装置を設け、座り心地の良いバケットタイプのロングシートを採用。



●1000形

1988年就役。東京メトロ千代田線への乗り入れ車両として運行。当社初のオールステンレス車両。省エネ化したりニューアルを進めている。



●8000形

1983年就役。輸送力増強を担う高性能車両として登場。大きな曲面ガラスを用いた正面デザインで通勤車両のイメージを一新。2013年にリニューアルが完了。



駅一覧

駅名	開設年月日	郵便番号	住所
新宿駅	1927. 4. 1	160-0023	新宿区西新宿 1-1-3
南新宿駅	1927. 4. 1	151-0053	渋谷区代々木 2-29-16
参宮橋駅	1927. 4. 1	151-0053	渋谷区代々木 4-6-7
代々木八幡駅	1927. 4. 1	151-0053	渋谷区代々木 5-6-1
代々木上原駅	1927. 4. 1	151-0066	渋谷区西原 3-8-5
東北沢駅	1927. 4. 1	155-0031	世田谷区北沢 3-1-4
下北沢駅	1927. 4. 1	155-0031	世田谷区北沢 2-24-2
世田谷代田駅	1927. 4. 1	155-0033	世田谷区代田 2-31-12
梅ヶ丘駅	1934. 4. 1	154-0022	世田谷区梅丘 1-31-21
豪徳寺駅	1927. 4. 1	154-0021	世田谷区豪徳寺 1-43-4
経堂駅	1927. 4. 1	156-0052	世田谷区経堂 2-1-3
千歳船橋駅	1927. 4. 1	156-0055	世田谷区船橋 1-1-5
祖師ヶ谷大蔵駅	1927. 4. 1	157-0072	世田谷区祖師谷 1-7-1
成城学園前駅	1927. 4. 1	157-0066	世田谷区成城 6-5-34
喜多見駅	1927. 4. 1	157-0067	世田谷区喜多見 9-2-26
狛江駅	1927. 5.27	201-0014	狛江市東和泉 1-17-1
和泉多摩川駅	1927. 4. 1	201-0014	狛江市東和泉 4-2-1
登戸駅	1927. 4. 1	214-0014	川崎市多摩区登戸 2417
向ヶ丘遊園駅	1927. 4. 1	214-0014	川崎市多摩区登戸 2098
生田駅	1927. 4. 1	214-0038	川崎市多摩区生田 7-8-4
読売ランド前駅	1927. 4. 1	214-0037	川崎市多摩区西生田 3-8-1
百合ヶ丘駅	1960. 3.25	215-0011	川崎市麻生区百合丘 1-21-1
新百合ヶ丘駅	1974. 6. 1	215-0004	川崎市麻生区万福寺 1-18-1
柿生駅	1927. 4. 1	215-0021	川崎市麻生区上麻生 5-42-1
鶴川駅	1927. 4. 1	195-0053	町田市能ヶ谷 1-6-3
玉川学園前駅	1929. 4. 1	194-0041	町田市玉川学園 2-21-9
町田駅	1927. 4. 1	194-0013	町田市原町田 6-12-20
相模大野駅	1938. 4. 1	252-0303	相模原市南区相模大野 3-8-1
小田急相模原駅	1938. 3. 1	252-0314	相模原市南区南台 3-20-1
相武台前駅	1927. 4. 1	252-0011	座間市相武台 1-33-1
座間駅	1927. 7.28	252-0028	座間市入谷東 3-60-1
海老名駅	1941.11.25	243-0438	海老名市めぐみ町 1-1
厚木駅	1927. 4. 1	243-0433	海老名市河原口 1-1-1
本厚木駅	1927. 4. 1	243-0013	厚木市泉町 1-1
愛甲石田駅	1927. 4. 1	243-0035	厚木市愛甲 1-1-1
伊勢原駅	1927. 4. 1	259-1132	伊勢原市桜台 1-1-7
鶴巻温泉駅	1927. 4. 1	257-0001	秦野市鶴巻北 2-1-1

駅 名	開設年月日	郵便番号	住 所
東海大学前駅	1927. 4. 1	257-0003	秦野市南矢名 1-1-1
秦野駅	1927. 4. 1	257-0034	秦野市大秦町 1-1
渋沢駅	1927. 4. 1	259-1321	秦野市曲松 1-1-1
新松田駅	1927. 4. 1	258-0003	足柄上郡松田町松田惣領 1356
開成駅	1985. 3.14	258-0021	足柄上郡開成町吉田島 4300-1
栢山駅	1927. 4. 1	250-0852	小田原市栢山 2636
富水駅	1927. 4. 1	250-0853	小田原市堀之内 242
螢田駅	1952. 4. 1	250-0865	小田原市蓮正寺 319
足柄駅	1927. 4. 1	250-0001	小田原市扇町 3-32-27
小田原駅	1927. 4. 1	250-0045	小田原市城山 1-1-1
東林間駅	1929. 4. 1	252-0302	相模原市南区上鶴間 7-7-1
中央林間駅	1929. 4. 1	242-0007	大和市中央林間 3-3-8
南林間駅	1929. 4. 1	242-0006	大和市南林間 1-6-11
鶴間駅	1929. 4. 1	242-0005	大和市西鶴間 1-1-1
大和駅	1929. 4. 1	242-0016	大和市大和南 1-1-1
桜ヶ丘駅	1952.11.25	242-0024	大和市福田 5522
高座渋谷駅	1929. 4. 1	242-0023	大和市渋谷 6-16-2
長後駅	1929. 4. 1	252-0807	藤沢市下土棚 472
湘南台駅	1966.11. 7	252-0804	藤沢市湘南台 2-15
六会日大前駅	1929. 4. 1	252-0813	藤沢市亀井野 1-1-1
善行駅	1960.10. 1	251-0871	藤沢市善行 1-27
藤沢本町駅	1929. 4. 1	251-0052	藤沢市藤沢 3-3-4
藤沢駅	1929. 4. 1	251-0055	藤沢市南藤沢 1-1
本鵠沼駅	1929. 4. 1	251-0028	藤沢市本鵠沼 2-13-14
鵠沼海岸駅	1929. 4. 1	251-0037	藤沢市鵠沼海岸 2-4-10
片瀬江ノ島駅	1929. 4. 1	251-0035	藤沢市片瀬海岸 2-15-3
五月台駅	1974. 6. 1	215-0025	川崎市麻生区五力田 3-18-1
栗平駅	1974. 6. 1	215-0031	川崎市麻生区栗平 2-1-1
黒川駅	1974. 6. 1	215-0034	川崎市麻生区南黒川 4-1
はるひ野駅	2004.12.11	215-0036	川崎市麻生区はるひ野 5-8-1
小田急永山駅	1974. 6. 1	206-0025	多摩市永山 1-18-23
小田急多摩センター駅	1975. 4.23	206-0033	多摩市落合 1-11-2
唐木田駅	1990. 3.27	206-0035	多摩市唐木田 1-2-1

▶駅のバリアフリーなどについて詳しくは、ホームページをご覧ください。

[HP] www.odakyu.jp/safety/barrier_free/

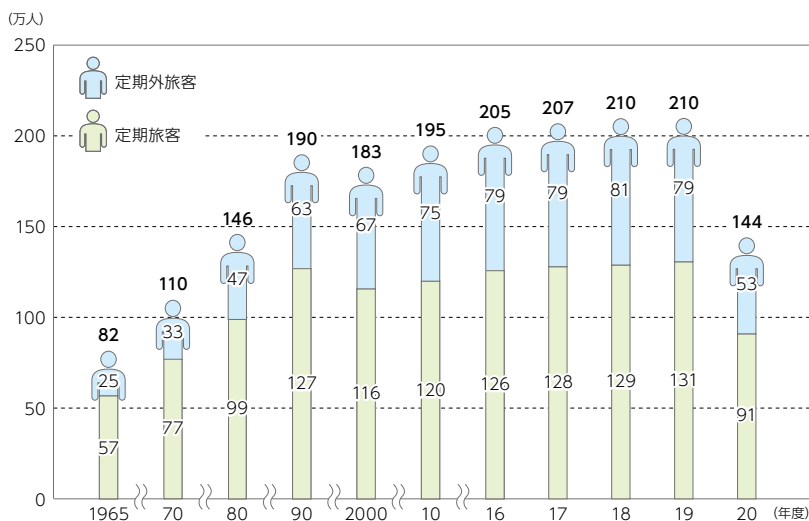
1日平均駅別乗降人員

駅 名	2019年度	2020年度	対前年増減率	順位
小田原線				
新宿駅	516,876 人	317,845 人	△38.5 %	1
南新宿駅	3,977	3,153	△20.7	70
参宮橋駅	14,612	8,834	△39.5	60
代々木八幡駅	20,580	15,560	△24.4	51
代々木上原駅	283,238	190,176	△32.9	3
東北沢駅	7,335	5,596	△23.7	66
下北沢駅	121,739	82,821	△32.0	11
世田谷代田駅	9,348	7,061	△24.5	64
梅ヶ丘駅	34,064	19,535	△42.7	41
豪徳寺駅	28,656	21,101	△26.4	37
経堂駅	82,540	57,253	△30.6	15
千歳船橋駅	60,683	44,739	△26.3	17
祖師ヶ谷大蔵駅	51,085	33,774	△33.9	24
成城学園前駅	88,692	58,614	△33.9	14
喜多見駅	34,207	25,497	△25.5	34
狛江駅	48,921	36,661	△25.1	21
和泉多摩川駅	15,751	11,667	△25.9	56
登戸駅	167,685	117,994	△29.6	5
向ヶ丘遊園駅	67,384	41,442	△38.5	20
生田駅	46,037	29,489	△35.9	28
読売ランド前駅	36,082	25,932	△28.1	32
百合ヶ丘駅	21,681	17,214	△20.6	46
新百合ヶ丘駅	128,155	91,516	△28.6	8
柿生駅	37,634	28,163	△25.2	29
鶴川駅	68,992	46,377	△32.8	16
玉川学園前駅	46,581	26,876	△42.3	30
町田駅	289,419	200,781	△30.6	2
相模大野駅	127,169	87,835	△30.9	10
小田急相模原駅	57,496	43,632	△24.1	18
相武台前駅	40,324	29,688	△26.4	26
座間駅	20,833	15,742	△24.4	50
海老名駅	152,370	102,399	△32.8	6
厚木駅	20,287	14,964	△26.2	52
本厚木駅	151,791	97,984	△35.4	7
愛甲石田駅	54,602	34,670	△36.5	23
伊勢原駅	51,705	36,216	△30.0	22

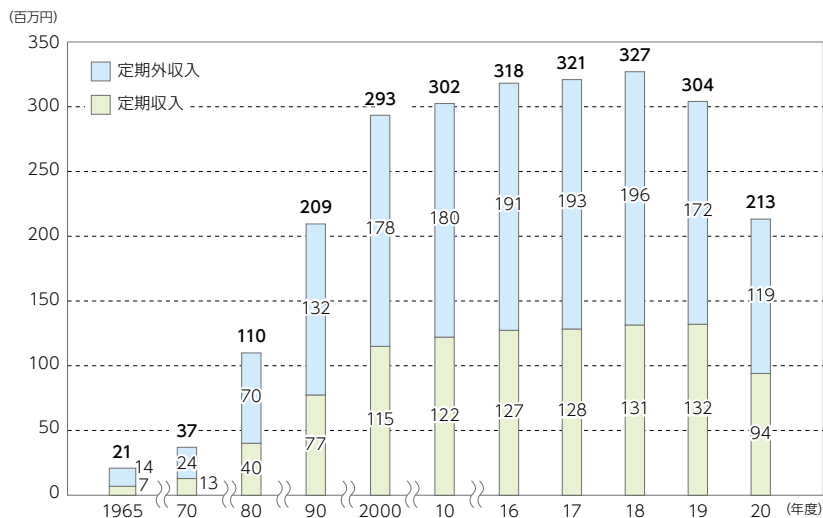
駅 名	2019年度	2020年度	対前年増減率	順位
鶴巻温泉駅	14,963 人	11,003 人	△ 26.5 %	57
東海大学前駅	38,909	18,421	△ 52.7	44
秦野駅	42,011	29,678	△ 29.4	27
渋沢駅	27,175	19,960	△ 26.6	39
新松田駅	22,946	16,447	△ 28.3	48
開成駅	12,350	9,830	△ 20.4	59
栢山駅	8,589	6,474	△ 24.6	65
富水駅	6,796	5,080	△ 25.3	67
螢田駅	6,059	4,762	△ 21.4	68
足柄駅	3,893	3,408	△ 12.5	69
小田原駅	62,396	41,803	△ 33.0	19
江ノ島線				
東林間駅	22,006	17,045	△ 22.5	47
中央林間駅	99,122	73,239	△ 26.1	12
南林間駅	34,021	25,915	△ 23.8	33
鶴間駅	30,356	23,911	△ 21.2	35
大和駅	118,918	90,097	△ 24.2	9
桜ヶ丘駅	20,242	15,870	△ 21.6	49
高座渋谷駅	25,520	19,788	△ 22.5	40
長後駅	34,294	26,551	△ 22.6	31
湘南台駅	92,076	65,612	△ 28.7	13
六会日大前駅	29,802	18,602	△ 37.6	43
善行駅	27,011	20,959	△ 22.4	38
藤沢本町駅	21,694	17,303	△ 20.2	45
藤沢駅	165,663	122,034	△ 26.3	4
本鵜沼駅	13,938	10,766	△ 22.8	58
鵜沼海岸駅	19,859	14,807	△ 25.4	53
片瀬江ノ島駅	19,828	13,306	△ 32.9	54
多摩線				
五月台駅	10,192	7,951	△ 22.0	61
栗平駅	24,606	18,641	△ 24.2	42
黒川駅	8,731	7,081	△ 18.9	63
はるひ野駅	10,048	7,423	△ 26.1	62
小田急永山駅	31,056	22,278	△ 28.3	36
小田急多摩センター駅	51,315	31,339	△ 38.9	25
唐木田駅	17,207	11,753	△ 31.7	55

輸送人員・旅客収入

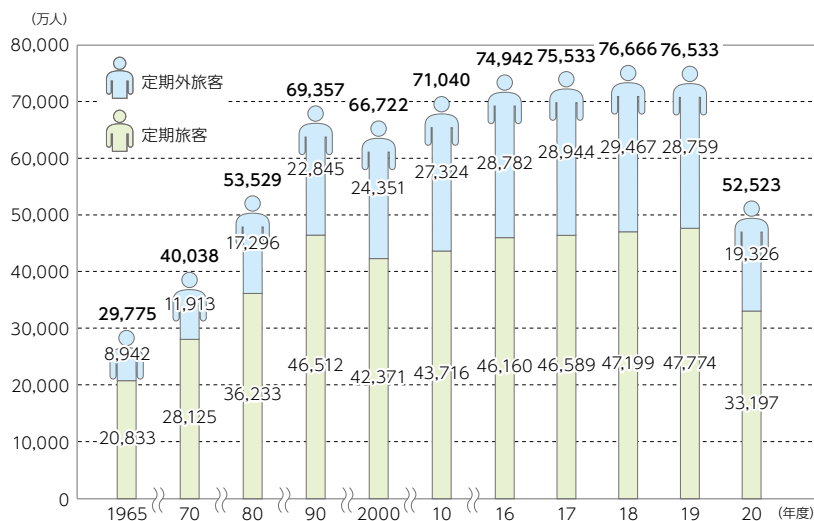
1日平均輸送人員の推移



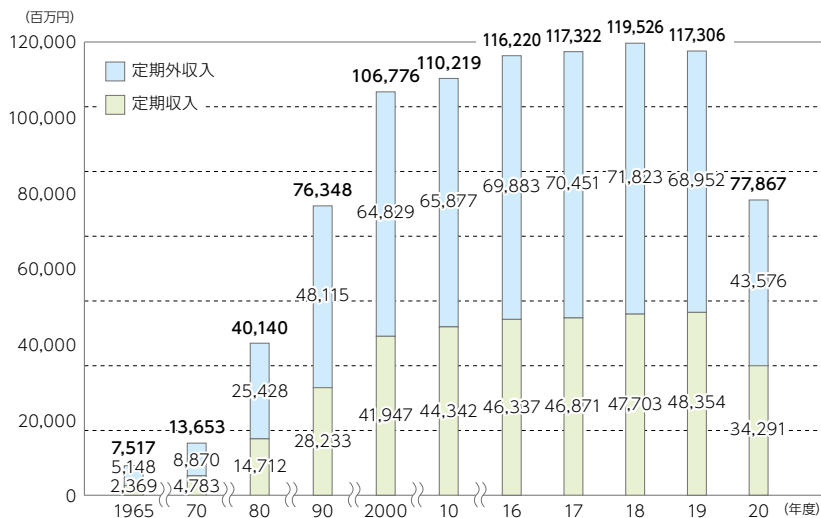
1日平均旅客運輸収入の推移



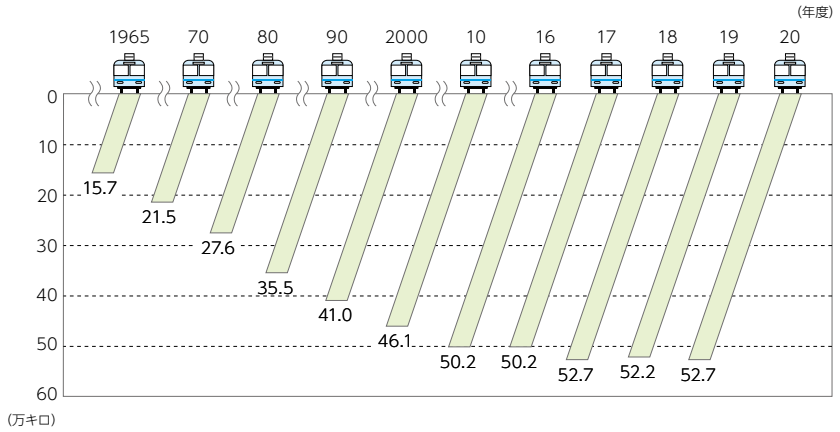
年間輸送人員の推移



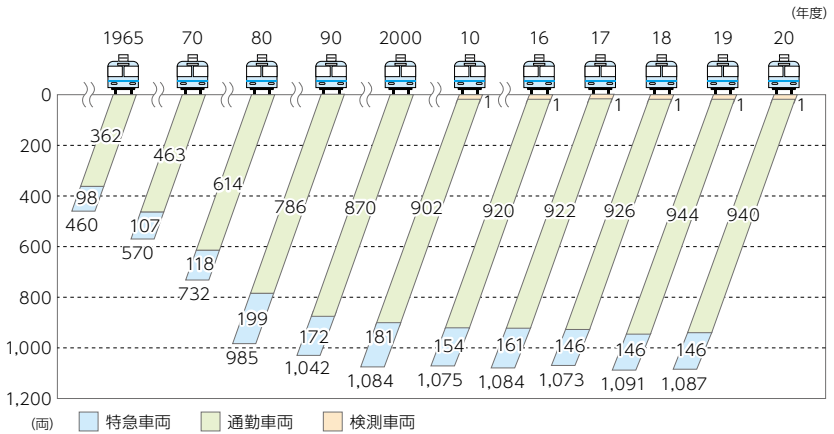
年間旅客運輸収入の推移



1日平均客車走行キロの推移



保有車両数の推移





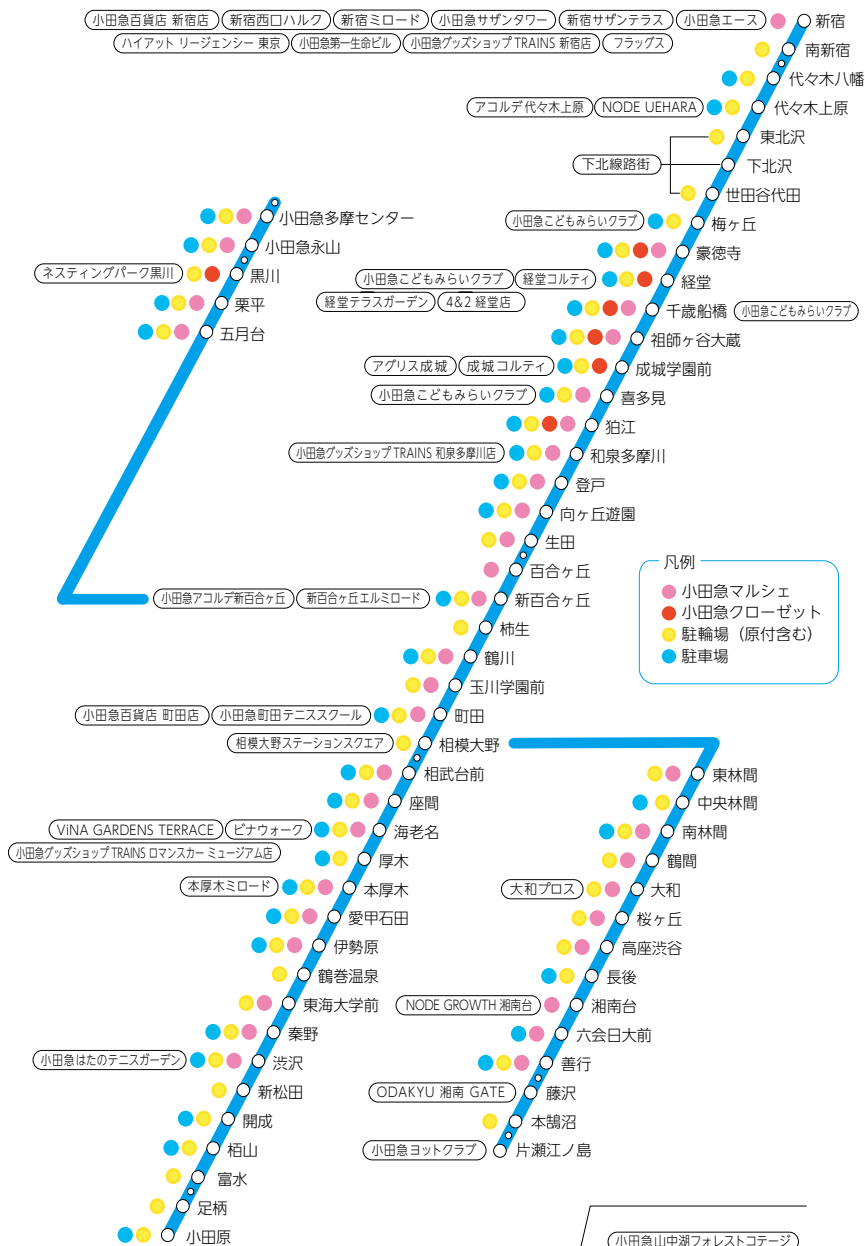
リーフィアタワー海老名プリスコート(左)
下北線路街 空き地(右上)
BONUS TRACK(右下)

Chapter 4

生活サービス部門

小田急沿線の付加価値を高めるため、不動産賃貸業をはじめ、遊休地や再開発事業用地での商業・サービス施設を開発。多様化するニーズを捉えた新規事業を積極的に展開し、駅を中核とした商圈の拡大を図っています。

<生活サービス部門の施設マップ>



不動産賃貸業

当社では、沿線にお住まいの方々に便利で快適な生活を送っていただけるよう、商業・オフィスビルやホテルなどの不動産賃貸業を積極的に展開しています。近年では、魅力ある商業施設の開発やリニューアル、運営を行っています。なお、2020年4月に当社グループの商業施設の運営・開発事業を一貫して担う会社として(株)小田急SCディベロップメントが設立され、同社に当社の商業施設運営事業を継承しました。

小田急マルシェ、アコルデなどの商業施設

約40の駅改札周りや高架下に、お客さまの「欲しい」「便利」など、さまざまなニーズに応えた店舗からなる商業施設を展開しています。

主な賃貸ビル

●新宿西口ハルク

新宿駅西口に面した地下3階、地上8階建ての複合商業施設。小田急百貨店のスポーツ用品フロアが充実しているほか、ビックカメラやレストラン、サービス施設などから構成されています。



●小田急センチュリービル／小田急第一生命ビル

小田急センチュリービルは、西新宿に位置する地下4階、地上28階建ての高層ビル。(株)ホテル小田急が、国際的なシティホテル「ハイアットリージェンシー 東京」を運営しています。

小田急第一生命ビルは小田急センチュリービルに隣接し、また、都営大江戸線都庁前駅、東京メトロ丸ノ内線西新宿駅と地下通路で直結した地下4階、地上26階建てのオフィスビルです。

●小田急サザンタワー

新宿サザンテラスにある地下4階、地上36階建ての高層ビル。「小田急ホテルセンチュリーサザンタワー」やオフィス、レストランなどが入っています。ホテルは(株)ホテル小田急サザンタワーが運営し、レジャーやビジネスのお客さまを中心にご利用いただいています。

●フラグス

新宿駅南口にある地下1階、地上10階建ての商業施設。ファッション・音楽・スポーツなど、さまざまな角度から常に新しいライフスタイルを提案する約15店から構成されています。



●新宿ミロード

新宿駅に直結した地上10階建ての大型商業施設。20代の女性をターゲットにしたファッションフロアや新宿地区最大規模のレストランフロア、新宿駅西口と南口をつなぐオープンモールのモザイク通りなど、約120店の専門店から構成されています。



●経堂コルティ

経堂駅北口にある地上4階建ての複合商業施設。地域コミュニティの一翼を担う屋上庭園などを備え、Odakyu OXのほか、生活に彩りを添える雑貨やサービスを中心に、バラエティー豊かな約50店から構成されています。



●成城コルティ

成城学園前駅直結の地上4階建ての複合商業施設。「成城らしい豊かさの追求」をコンセプトに、保育所やクリニック、カフェ & レストランなど、約35店の専門店から構成されています。



●新百合ヶ丘エルミロード

新百合ヶ丘駅南口にある地下1階、地上7階建ての大型商業施設。Odakyu OX、イトーヨーカドーのほか、約100店の各種専門店やフィットネスクラブから構成されています。



●相模大野ステーションスクエア

相模大野駅直結の地上14階建ての複合商業施設。小田急ホテルセンチュリー相模大野やOdakyu OXのほか、ファッション店や、カフェ & レストランなどの約130店の専門店から構成されています。



●ビナウォーク・ビナガーデンズテラス

海老名駅東口にある複合商業施設。1番館から7番館、ビナプラス、ビナフロント、ビナガーデンズテラスからなり、マルイファミリーを核テナントに、シネマコンプレックスやレストランなど、約150店の専門店から構成されています。ビナガーデンズテラスは、海老名駅西口にある地上4階建ての商業施設で、レストランや居酒屋などの約25店の専門店から構成されています。



●本厚木ミロード

本厚木駅直結の複合商業施設。ミロード、ミロードイースト、小田急ステーションホテル本厚木からなり、ファッション店、食品店などの専門店から構成されています。



下北沢地区上部利用計画

東北沢～世田谷代田間の連続立体交差事業および複雑線化事業により創出された鉄道上部空間の利用について、開発コンセプト「BE YOU. シモキタらしく。ジブンらしく。」のもと、名称を「下北線路街」とし、魅力あるまちづくりを進めています。2021年度末までには、商業施設や宿泊施設などが順次開業する予定です。

●下北沢地区上部エリアゾーニング図(2021年3月31日現在)



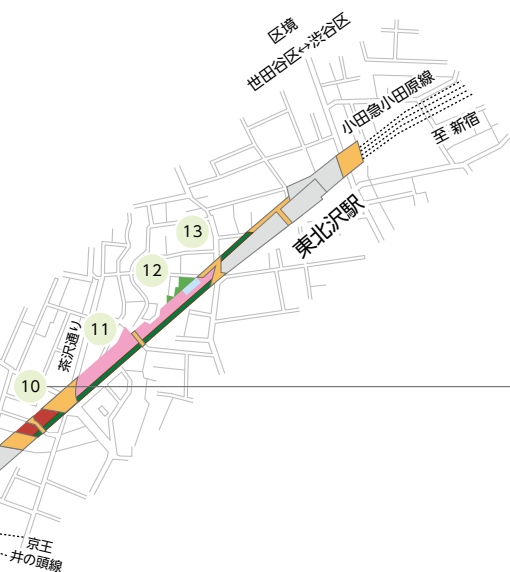
SHIMOKITA COLLEGE



由縁別邸 代田



BONUS TRACK



下北線路街 空き地

＜「下北線路街」各施設の概要＞

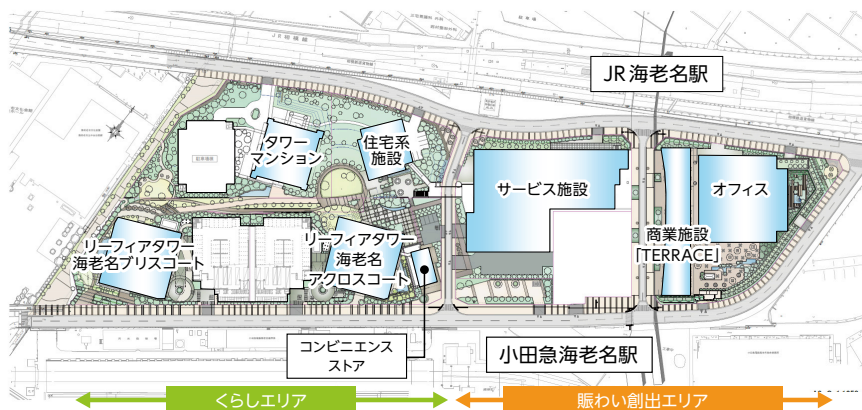
No.	名称	概要	開業時期 (予定) ※下線は開業済	規模 (m ² は延床面積)
01	リージア代田テラス	豊かな世田谷ライフを叶えるテラスハウス	<u>2016年2月</u>	2階建／約700m ²
02	世田谷代田キャンパス	食でつながる地域のコミュニティハブ	<u>2019年4月</u>	2階建／約400m ²
03	KALDINO	世田谷代田が発祥の「カルディ」による テストキッチン&カフェ	<u>2020年1月</u>	2階建／約300m ²
04	温泉旅館 由縁別邸 代田	都心に突如現れる温泉旅館	<u>2020年9月</u>	2階建(一部3階)／ 約2,000m ²
05	世田谷代田 仁慈保育園	地域とつながる保育施設&コミュニティの場	<u>2020年4月</u>	2階建／約1,400m ²
06	BONUS TRACK	新たなチャレンジや 個人の商いを応援する長屋 (住宅・商業)	<u>2020年4月</u>	2階建／約900m ²
07	SHIMOKITA COLLEGE	新たな出会いと学びを提供する 居住型教育施設(学生寮)	<u>2020年12月</u>	5階建／約2,500m ²
08	未定	コミュニティをつくる ライフスタイル提案型施設(商業)	2021年中	5階建／約1,700m ²
09	シモキタエキウエ	シモキタならではの多様性あふれる商業施設	<u>2019年11月</u>	2階建／約1,500m ²
10	下北線路街 空き地	みんなでつくる自由なあそび場	<u>2019年9月～ 2021年度内</u>	約1,400m ²
11	reload	洗練された個店が集まる次世代型の商業ゾーン	<u>2021年6月</u>	2階建／約1,900m ²
12	未定	シモキタカルチャーを加速させるエンタメカフェ	2021年中	1階建／約400m ²
13	未定	さまざまな人が集まる都市型ホテル	2021年中	2階建／約1,700m ²

海老名駅周辺開発

海老名駅西口の駅間地区(エリア名称:「ViNA GARDENS」)において、第一期建物として飲食店舗を中心とした商業施設「TERRACE」を2017年11月に開業しました。タワーマンションについては、1棟目「リーフィアタワー海老名アクロスコート」が2020年1月より、2棟目「リーフィアタワー海老名プリスコート」が2021年1月にそれぞれ入居開始しました。

また、賑わい創出エリアにおいて、オフィス棟は2022年春、サービス棟は2022年度上期中にそれぞれ開業を予定しています。

●ViNA GARDENS開発計画



ViNA GARDENSの完成イメージ

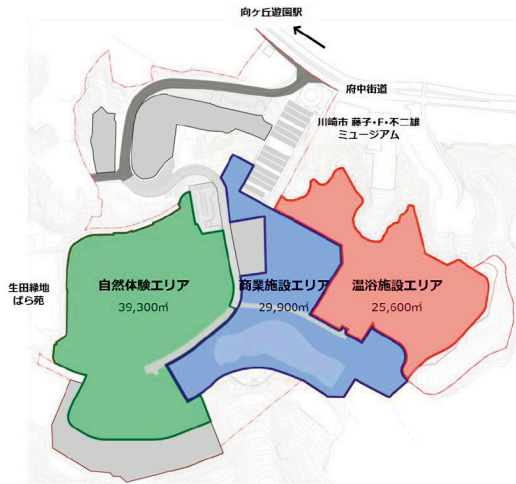


オフィス棟の完成イメージ(上)
サービス棟の完成イメージ(下)

向ヶ丘遊園跡地開発計画

2002年3月に閉園した向ヶ丘遊園(川崎市多摩区)の跡地利用に関する開発計画の概要について決定しました。「人と自然が回復しあう丘」を開発コンセプトに、跡地全体を「商業施設エリア」「温浴施設エリア」「自然体験エリア」の3つのゾーンに分け、「人が集い楽しむ場」として生まれ変わります。

●向ヶ丘遊園跡地 エリアゾーニング図(2018年11月30日現在)



商業施設エリア(イメージ)



温浴施設エリア(イメージ)



自然体験エリア(イメージ)

新宿駅西口地区開発計画

当社と東京地下鉄(株)は2020年9月に、「新宿駅西口地区開発計画」の概要について発表しました。計画建物は地上48階、高さ約260メートルのオフィス・商業機能など備えたビルとして、駅とまちの連携を強化する重層的な歩行者ネットワークの形成、賑わいと交流を生み出す滞留空間の整備、災害時の帰宅困難者支援空間の確保、最新の技術導入による環境負荷の低減を図ります。



計画建物(イメージ)



歩行者ネットワークの整備(イメージ)



ビジネス創発機能と動線、滞留空間などの一体配置(イメージ)

広告業

ポスター・看板・デジタルサイネージなど、駅構内や車内を広告媒体として有効活用しているほか、物販および広告スペースとして駅構内の貸し出しを行っています。

その他事業

沿線価値の向上と新たな収益源創出のため、新規事業を積極的に展開しています。

■ 駐輪・駐車場業

沿線の駅周辺で駐輪・駐車場を運営しており、駐輪場においては、盗難事故防止などを目的としたゲート方式の入出場制御システムの導入を進めているほか、交通系ICカードを利用したチケットレス駐輪場への変更を順次進めています。また、PASMOを利用して料金を割り引く首都圏の鉄道会社として初の「レール&カーシェア」を23駐車で展開しています。



ゲート方式の駐輪場

■ ミネラルウォーター事業

箱根にある当社グループのホテル敷地内で採水した天然水と足柄茶葉など沿線の自然の恵みを生かし、「箱根の森から」ブランドのナチュラルミネラルウォーターと緑茶を商品化し、小田急沿線を中心に販売しています。売り上げの一部は自然保護などのために箱根町に寄付しており、2020年度にはシリーズ累計販売本数3,905万本を達成しました。



箱根の森から

■ ソーラー・光ファイバーケーブル芯線賃貸事業

喜多見電車基地および周辺施設の屋上・屋根場などの未利用スペースに太陽電池パネルを設置し、太陽光発電事業を実施しています。また、全線にわたって敷設した光ファイバーケーブルを通信事業者などに賃貸しています。

レジャー・スポーツ事業

山中湖畔のキャンプ場「小田急山中湖フォレストコテージ」や成城学園前駅の西口正面にある会員制貸菜園「アグリス成城」を運営しています。また、スポーツ施設として、江の島島内に湘南港に隣接する「小田急ヨットクラブ」や小田急百貨店町田店屋上で「小田急町田テニススクール」、渋谷駅から徒歩15分の立地にリゾートテニスクラブ「小田急はたのテニsgガーデン」を運営しています。



小田急山中湖フォレストコテージ



小田急ヨットクラブ

ペットケア事業

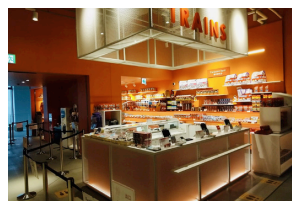
ペットケア(トリミング)、ホテル、クリニック、物販という4つのペットに関わるサービスを提供する複合施設「4&2(フォー・アンド・トゥー)」を運営しています。「“おさんぽ”でも気軽に立ち寄れるペットとの生活を応援するお店」をコンセプトに掲げ、経堂テラスガーデン敷地内で営業しています。



4&2 経堂店

小田急グッズショップ TRAINS

ロマンスカー・通勤車両をデザインした当社オリジナルの鉄道グッズを多数取り扱う専門店として、新宿駅西口地下と和泉多摩川駅前に出店しています。2021年4月には、ロマンスカーミュージアムの開業にあわせ、TRAINS ロマンスカーミュージアム店もオープンしました。



TRAINS ロマンスカーミュージアム店

小田急クローゼット

冷暖房、セキュリティシステム完備で24時間出し入れ可能なレンタル収納スペース「小田急クローゼット」を、豪徳寺、経堂、千歳船橋、祖師ヶ谷大蔵、成城、狛江、黒川の高架下で営業しています。

小田急こどもみらいクラブ

小学生のお子さまが平日の放課後や夏休みなどの長期休みに利用する学童保育施設です。喜多見、千歳船橋、経堂、梅ヶ丘の4店舗で運営しています。

指定小学校へのお迎えサービスやICカードタッチによる入退室の状況が保護者にメール送信されるシステムなどにより安心を提供するほか、学校の宿題への対応に加え、SAPIXのノウハウを生かした教材を使用し、学習面もサポートしています。



小田急こどもみらいクラブ梅ヶ丘

小田急くらしサポート

家事のお手伝い、ご自宅のメンテナンス、リフォームなど、暮らし全般に関わる商品やサービスの相談・注文を電話一本で受け、お客さまのご要望に応じた商品やサービスを紹介・取り次ぎするサービスです。

小田急でんき

「小田急でんき」は沿線のお客さまにより一層の安心とおトクを提供するため参入した電力販売事業です。地域最安値級の料金体系に加え、「小田急ガス」とセットでさらに“おトク”になる家計にやさしいサービスを提供。電気の品質はもちろんこれまでと同じで、自宅内の電気設備のトラブルにも24時間365日で対応しています。

地域密着型サービスプラットフォーム「ONE(オーネ)」

世代・家族構成などを問わず、小田急沿線にお住まいのすべてのお客さまの幅広いニーズに応えるためのサービス提供を行う地域密着型サービスプラットフォームです。ONE会員に発行される「ONE ID」にて、パートナー企業の提供するさまざまなサービスを受けることが可能です。また、ONE会員限定のクーポンを発行し、パートナー企業のサービスをお得にご利用いただけます。沿線の暮らしがさらに楽しく快適になるよう、さまざまな企業と提携して、サービスの拡充を目指します。



Chapter 5

小田急グループ

小田急グループは93社、従業員数約2万5,000人からなり、運輸・流通・不動産など、幅広い領域で事業を展開しています。

※2021年8月1日現在

小田急グループ一覧

※1：2021年8月1日現在 ※2：神奈川中央交通（株）は持分法適用会社 ※連結対象会社

業態	会社名※1	住所	電話番号
運輸業			
鉄道	箱根登山鉄道(株) *	神奈川県小田原市城山 1-15-1	0465-32-6821
	江ノ島電鉄(株) *	神奈川県藤沢市片瀬海岸 1-8-16	0466-24-2711
バス	箱根登山バス(株) *	神奈川県小田原市東町 5-33-1	0465-35-1201
	神奈川中央交通(株)※2	神奈川県平塚市八重咲町 6-18	0463-22-8800
	小田急バス(株) *	東京都調布市仙川町 2-19-5	03-5313-8233
	立川バス(株) *	東京都立川市高松町 2-27-27	042-524-3111
	東海自動車(株) *	静岡県伊東市渚町 2-28	0557-36-1111
	(株) 江ノ電バス *	神奈川県藤沢市片瀬海岸 1-8-16	0466-24-2714
	神奈川中央交通東(株)	神奈川県藤沢市辻堂新町 3-4-23	0466-21-8553
	神奈川中央交通西(株)	神奈川県平塚市田村 4-5-4	0463-26-6071
	神奈中観光(株)	東京都町田市鶴間 7-6-22	042-788-2635
	小田急シティバス(株)	東京都世田谷区若林 2-39-4	03-5433-8771
	(株) 東海バス *	静岡県伊東市渚町 2-28	0557-36-1114
	小田急箱根高速バス(株) *	東京都世田谷区宮坂 3-1-60	03-3428-3133
タクシー	小田急交通(株) *	東京都港区三田 5-8-12	03-3455-3501
	私鉄共同無線センター (株)	東京都港区三田 5-8-12	03-5484-7171
	箱根登山ハイヤー (株)	神奈川県小田原市板橋 102-3	0465-22-1319
	神奈中タクシー (株)	神奈川県厚木市栄町 1-1-7	046-222-8110
	(株) 海老名相中	神奈川県海老名市河原口 4-4-8	046-234-1211
	(株) 厚木相中	神奈川県厚木市岡田 3-13-18	046-228-7161
	川崎交通産業(株)	神奈川県川崎市多摩区西生田 2-7-20	044-966-8311
	新立川交通(株)	東京都立川市栄町 4-47-6	042-536-6657
	伊豆急東海タクシー (株)	静岡県伊東市八幡野 1208-95	0557-55-1555
	小田急交通南多摩(株)	東京都多摩市落合 1-13-5	042-311-0030
観光	箱根観光船(株) *	神奈川県小田原市城山 1-15-1	0465-32-6830
	箱根ロープウェイ(株) *	神奈川県小田原市城山 1-15-1	0465-32-2201
	大山観光電鉄(株)	神奈川県伊勢原市大山 667	0463-95-2135
	富士汽船(株)	山梨県南都留郡山中湖村平野字向切詰 506-1	0555-62-0130
その他	小田急箱根ホールディングス(株) *	神奈川県小田原市城山 1-15-1	0465-32-6800
	東海輸送(株)	静岡県駿東郡清水町長沢 43	055-971-2697
	小田急オートサービス(株)	東京都港区三田 5-8-12	03-3455-6353

業態	会社名※1	住所	電話番号
流通業			
百貨店	(株) 小田急百貨店 *	東京都新宿区西新宿 1-5-1 ハルフ 6 階	0570-025-888
スーパー	小田急商事(株) *	神奈川県川崎市麻生区万福寺 3-1-2	044-967-1711
物販	(株) 北欧トーキョー *	神奈川県座間市ひばりが丘 4-26-1	046-253-0909
	江ノ電エリアサービス(株)	神奈川県藤沢市鵠沼藤が谷 1-1-5	0466-26-8748
	(株) 神奈中商事	神奈川県平塚市東八幡 3-15-3	0463-27-2201
	神奈川三菱ふそう自動車販売(株)	神奈川県横浜市鶴見区安善町 2-1-7	045-414-2511
	神奈中相模ヤナセ(株)	神奈川県相模原市中央区東淵野辺 4-16-21	042-755-9103
流通サービス	(株) 小田急友の会	東京都新宿区西新宿 1-1-3 小田急百貨店新宿店本館 11 階	03-5325-2309
その他	(株) 白鳩 *	京都府京都市伏見区竹田向代町 22	075-693-4609
	(株) ジェネリックコーポレーション *	東京都世田谷区宮坂 3-10-9 経堂フコク生命ビル 5 階	03-5799-7496
	小田急食品(株) *	神奈川県座間市ひばりが丘 4-26-2	046-255-1221
不動産業			
不動産分譲	小田急不動産(株) *	東京都渋谷区初台 1-47-1	03-3370-1110
	(株) 小田急ハウジング *	東京都渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 8 階	03-3379-6182
	Odakyu Australia Pty. Ltd.	Suite 502, Level 5, 2 Elizabeth Plaza, North Sydney, NSW 2060	—
不動産賃貸	(株) 小田急SCディベロップメント *	東京都新宿区西新宿 1-8-3	03-3349-2131
	箱根施設開発(株) *	神奈川県小田原市城山 1-15-1	0465-32-6808
	M.S.B.R Land Holding Pvt Ltd.	—	—
	Odakyu Lanka Pvt Ltd.	—	—
	Odakyu USA Inc.	—	—
その他の事業			
ホテル	(株) 小田急リゾート *	神奈川県小田原市栄町 2-7-25 2 階	0465-24-1230
	(株) ホテル小田急 *	東京都新宿区西新宿 2-7-2	03-3348-1234
	(株) ホテル小田急サザンタワー *	東京都渋谷区代々木 2-2-1	03-5354-0111
	箱根プレゼント(株)	神奈川県小田原市城山 1-15-1	0465-32-6833
	(株) グランドホテル神奈中	神奈川県平塚市八重咲町 6-18	0463-23-2555
企画・設計・運営	UDS(株) *	東京都渋谷区神宮前 1-19-19 2 階	03-5413-3941
	沖縄 UDS(株) *	沖縄県那覇市牧志 2-16-8	098-894-8655
	誉都思建筑咨询(北京) 有限公司	北京市朝阳区酒仙桥路 4 号 正东集团院内 A12 座(科技综合楼) 411 室	010-8459-9724
	誉都思酒店管理(北京) 有限公司	北京市朝阳区酒仙桥路 4 号 正东集团院内 A12 座(科技综合楼) 411 室	010-8459-9724
	韓国 UDS(株)	ソウル特別市ソンロ区 ザハムンロ 24 キル 44 1 階	—

小田急グループ一覧

※1: 2021年8月1日現在 ※連結対象会社

業態	会社名※1	住所	電話番号
レストラン	(株) 小田急レストランシステム *	東京都渋谷区代々木 2-28-12	03-3379-6131
	ジローレストランシステム(株) *	東京都渋谷区渋谷 2-12-24 東建長井ビル内	03-6418-5200
	(株) 神奈中システムプラン	神奈川県平塚市八重咲町 7-17 グランドホテル神奈中平塚別館 8 階	0463-23-8477
	(株) ドリームサークル	神奈川県小田原市栄町 1-14-57 ジャルダンビル 5 階	0465-22-6668
	(株) ジロープランニングサービス	東京都渋谷区渋谷 2-12-24 東建長井ビル内	03-3409-0654
	GIRAUD RESTAURANTS ASIA(CAMBODIA)CO.,LTD.	No21 Eo,St.466, Sangkat Tonle Bas- sac, Khan Chamkarmorn, Phnom Penh	+ 855-023- 726-134
旅行	(株) 小田急トラベル *	東京都渋谷区代々木 2-28-12	03-3379-6178
	(株) エリスタ	東京都新宿区新宿 5-15-14	03-3354-3313
ゴルフ	(株) 小田急スポーツサービス *	神奈川県綾瀬市深谷南 7-2-1	0467-77-3001
	(株) 富士小山ゴルフクラブ	静岡県駿東郡小山町大御神 894-1	0550-78-0111
	(株) 神奈中スポーツデザイン	神奈川県平塚市宝町 10-4	0463-24-5151
鉄道 メンテ ナンス	(株) 小田急エンジニアリング *	東京都渋谷区代々木 2-40-3	03-3378-8531
自動車 整備	神中興業(株)	神奈川県藤沢市本藤沢 4-2-3	0466-47-3811
	横浜車輛工業(株)	神奈川県横浜市都筑区東方町 427	045-471-9892
	(株) 東海車輛サービス	静岡県伊東市玖須美元和田 716-102	0557-45-5961
ビル管理	(株) 小田急ビルサービス *	東京都渋谷区代々木 2-28-12	03-5333-0010
	箱根登山トータルサービス(株)	神奈川県小田原市城山 3-22-6	0465-22-4307
	横浜ビルシステム(株)	神奈川県横浜市中区山下町 23 日土地山下町ビル 3 階	045-212-2060
	(株) オリエントサービス	神奈川県横浜市中区都筑区牛久保西 2-26-36 ヴェルデ関 202 号室	045-914-7244
	東海総合警備保障(株)	静岡県伊東市玖須美元和田 716-102	0557-45-4223
	(株) コンフィット	東京都町田市能ヶ谷 1-6-11 小田急マルシェ鶴川 4 階	042-860-2655
	(株) ウェルハーツ小田急	神奈川県相模原市南区相模大野 8-18-2	042-701-6789
	(株) 小田急エージェンシー *	東京都新宿区西新宿 1-8-3	03-3346-0664
情報・ 媒体	(株) アドベル	神奈川県平塚市榎木町 1-11	0463-21-5224
	(株) 神奈中情報システム	神奈川県平塚市室町 3-1 平塚 MNビル 11 階	0463-22-8804
	(株) フラッグスビジョン	東京都新宿区新宿 3-36-5	03-3350-1776
経理受託	(株) 小田急フィナンシャルセンター *	東京都新宿区西新宿 1-8-3	03-3349-2136
	(株) 神奈中アカウンティングサー ビス	神奈川県平塚市八重咲町 7-35 升水記念市民図書館ビル 5 階	0463-22-5621
人材派遣	(株) 小田急プラネット	東京都新宿区西新宿 1-4-9 新宿西ビルディング 1 階	03-5325-2314
	(株) ヒューマンック ホールディングス *	東京都新宿区新宿 4-3-17 FORECAST 新宿 SOUTH5 階	—
	(株) ヒューマンック *	東京都新宿区新宿 4-3-17 FORECAST 新宿 SOUTH5 階	03-6386-3150
保険	(株) 小田急保険サービス *	東京都新宿区西新宿 1-8-3	03-5322-1891
車輛等 資材調達	(株) 小田急グループマテリアルズ	東京都新宿区西新宿 1-8-3	03-3349-2532



小田急電鉄株式会社

〒160-8309 東京都新宿区西新宿1-8-3 [\[HP\]www.odakyu.jp](http://www.odakyu.jp)